

第4章

【参考】 本宮市の公共交通の現状（詳細版）

第4章【参考】本宮市の公共交通の現状（詳細版）

4-1 公共交通の運行実態の整理

○市内を運行する公共交通については、下表のとおり。

○運行経路については、次ページに示す。

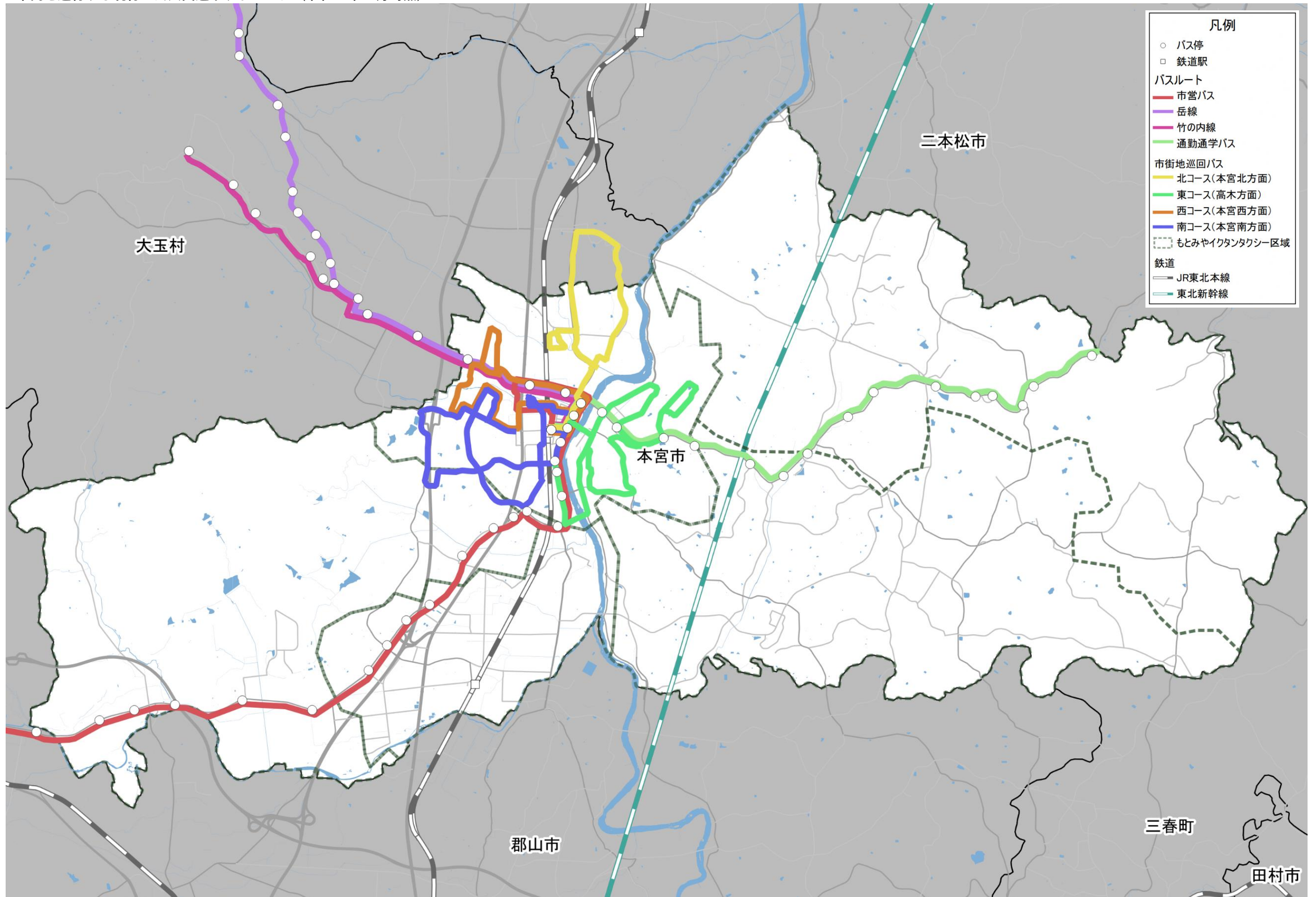
表 市内を運行する公共交通

運行路線名	主な区間	本数
JR 東北本線	本宮駅、五百川駅	48本/日
市街地巡回バス 東コース（高木方面）	本宮駅～太郎丸～金瀬～もとみや台～総合体育館前 ～高木第一集会所前～大屋敷～本宮駅	4本/日
市街地巡回バス 西コース（本宮西方面）	本宮駅～谷病院～えぼか～市民プール～小田原～愛 宕下～本宮駅	3本/日
市街地巡回バス 北コース（本宮北方面）	本宮駅～弁天～もとみやクリーンセンター～関根～ ～北郵便局前～本宮駅	4本/日
市街地巡回バス 南コース（本宮南方面）	本宮駅～谷病院～えぼか～山田～市民プール～蛇ノ 鼻～一本杉～花町～本宮駅	3本/日
通勤・通学バス	本宮駅～本宮高校前～JA 白沢支店前～征矢田	6本/日
市営バス 下樋・熱海線	本宮駅～愛宕下～東北病院前～青田原～神座～新岩 根～下樋～太田病院前	12本/日
広域生活バス 岳線	本宮駅～愛宕下～山ノ神～農協前～火の見下～皿久 保～県民の森入口～小関～岳温泉	4本/日
広域生活バス 竹の内線	本宮駅～愛宕下～山ノ神～農協前～玉井小学校～天 王下～糶免	4本/日
もとみやイクタンタクシー	運行エリア①白沢地区 運行エリア②青田・荒井・仁井田・岩根・関下地区	—

* 市街地巡回バスはフリー乗降制度を採用しており、運行経路上かつ安全に乗降可能な場所であればバス停以外でも乗降が可能

* もとみやイクタンタクシーについては、予約があった場合のみ運行

■市内を運行する現行の公共交通ネットワーク（令和3年3月時点）



4-2 市民の移動実態と問題点

4-2-1 市民の移動手段

■市民の日常的な移動手段として自家用車が定着しており、公共交通はほとんど利用されていない

- アンケート結果では、各移動目的別の移動手段について、自分で運転するものと家族等の送迎を合算すると『自家用車』が概ね8~9割を占めていることから、市民の主な移動手段として『自家用車』が定着している。
- また、自由な移動手段を持たない学生の通学手段では、徒歩や自転車の利用はあるものの、家族等の送迎が最も多い。加えて、通学時に公共交通を利用する学生の半数以上が鉄道を利用している実態があることから、一部の学生の保護者は子供の駅までの送迎が負担になっている可能性がある。
- なお、公共交通の利用実態は自家用車の利用実態と比較すると非常に少ない。市営公共交通は鉄道やタクシーと比べても利用が少ないが、もとみやイクタンタクシーが最も使われている。

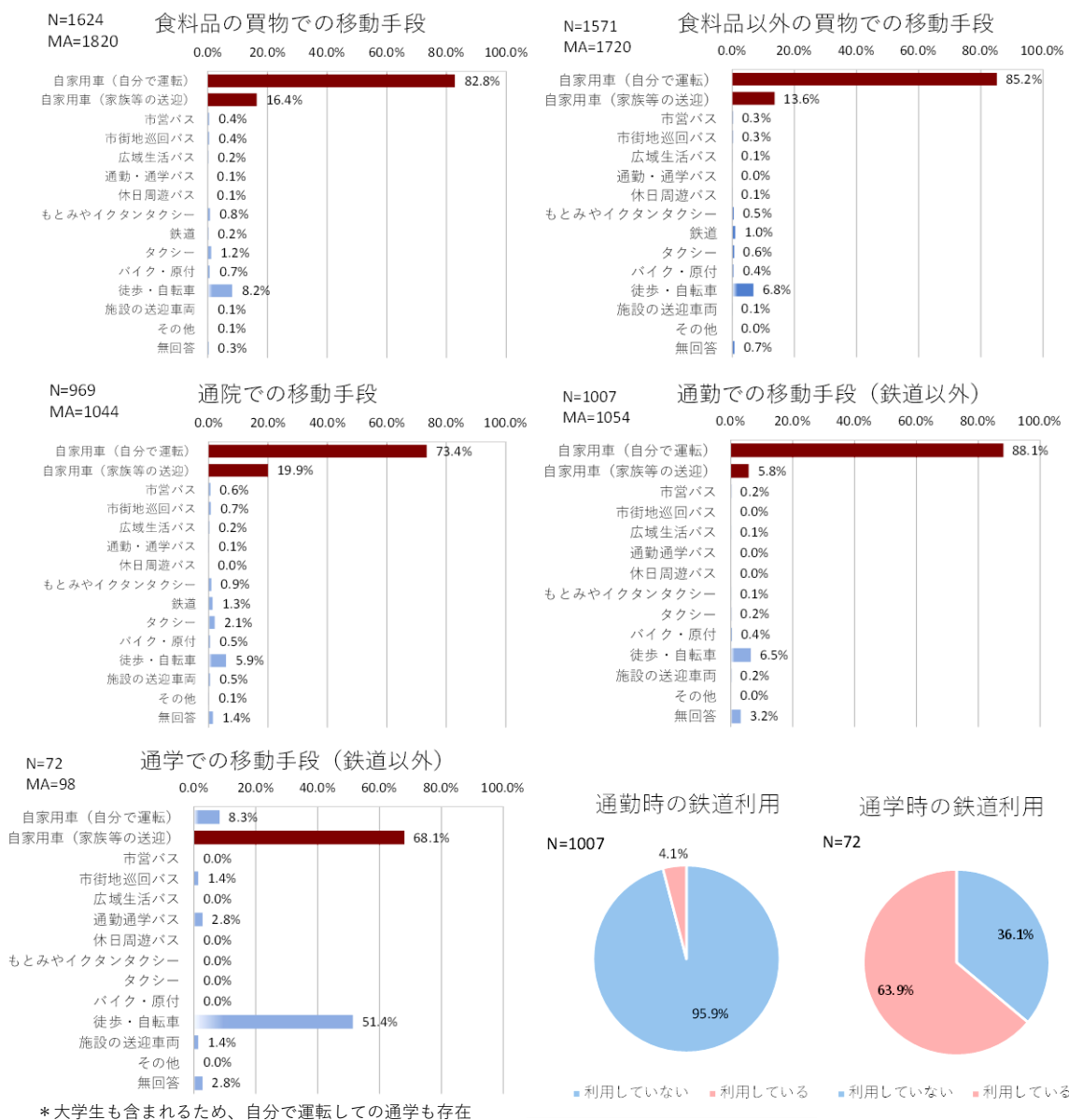


図 市民の移動手段（市民アンケートより）

参考：免許非保有者の移動実態

- 免許を持たない市民だけを抽出して分析を行った場合でも、自家用車による移動（家族等の送迎）割合が最も高い。
- 送迎以外の市民の移動手段は、どの移動目的においても徒歩・自転車が多く、公共交通を利用している市民は少ない。

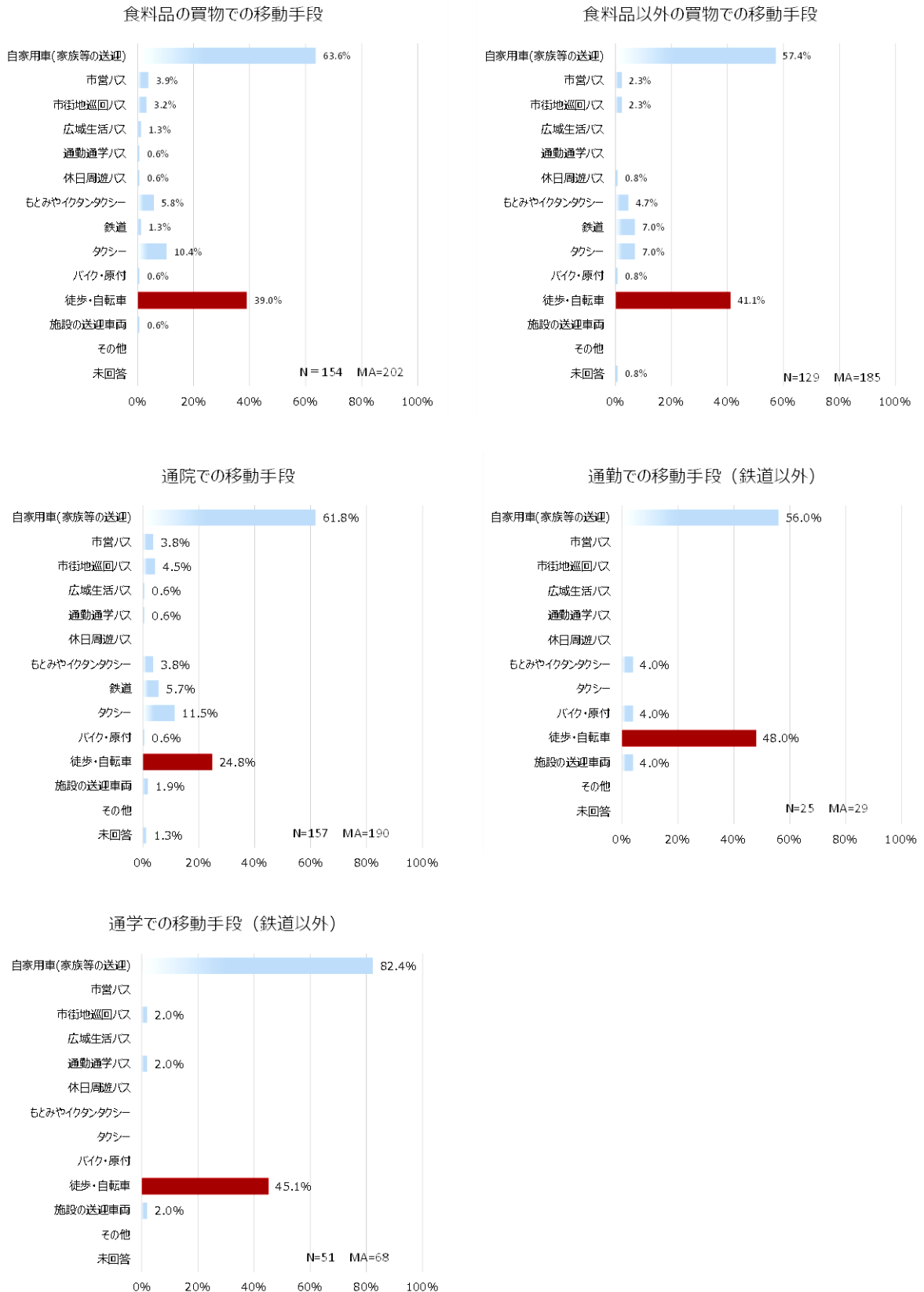
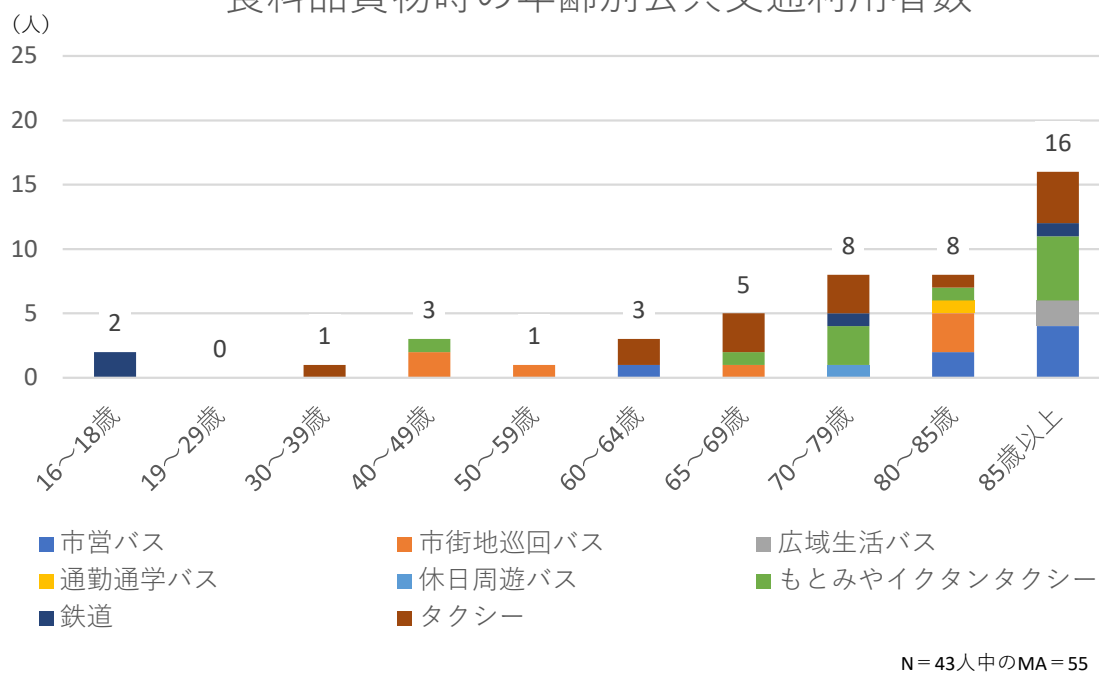


図 免許を持たない市民の移動手段（市民アンケートより）

■公共交通を利用している年齢層は65歳以上の高齢者に多く分布している

- 前述の市民の移動手段について、食料品の買物および通院時に公共交通を利用している回答者のみを抽出し、年齢別に利用者数を整理したグラフを以下に示す。
- 結果として、65歳以下にも公共交通利用者は存在するものの、65歳以上の高齢者層に利用者が多く存在している。

食料品買物時の年齢別公共交通利用者数



通院時の年齢別公共交通利用者数

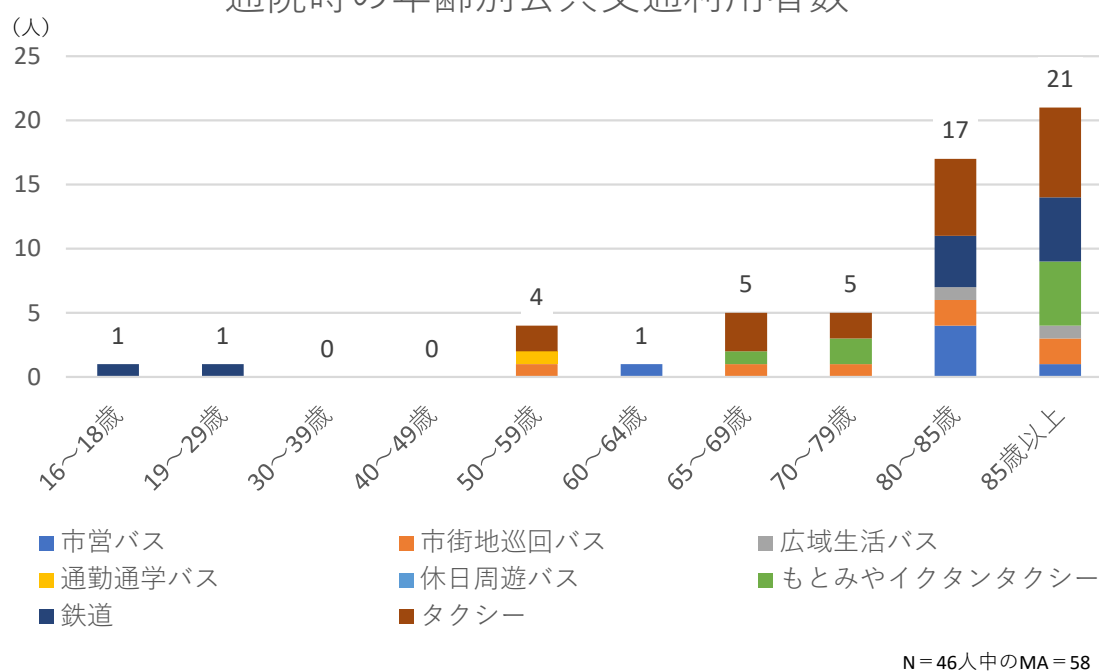


図 年齢別公共交通利用者数（市民アンケートより）

4-2-2 市民の自家用車の利用実態

■市民の約8割が自家用車および運転免許証を保有しており、今後も自家用車利用は続くと考えられるが、一部の市民は5年以内に免許返納を行う意思を示している

- アンケート結果では、約8割の市民が自分で自由に運転できる自家用車を保有しており、同じく約8割の市民に免許返納の意思はないことから、今後とも自家用車の利用が継続する。
- また、僅かではあるが、免許を保有していない市民や免許を返納予定の市民が存在している。
- なお、運転免許証の返納を予定している市民のうち、約半数（39人）は5年以内に免許返納を予定しており、自分で自家用車を運転する以外の移動方法に切り替えを検討している。

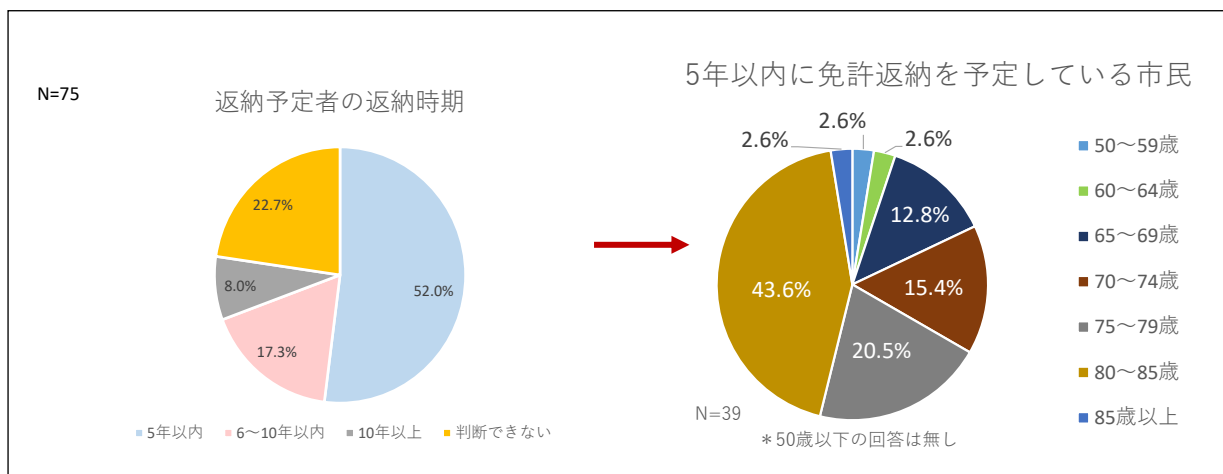
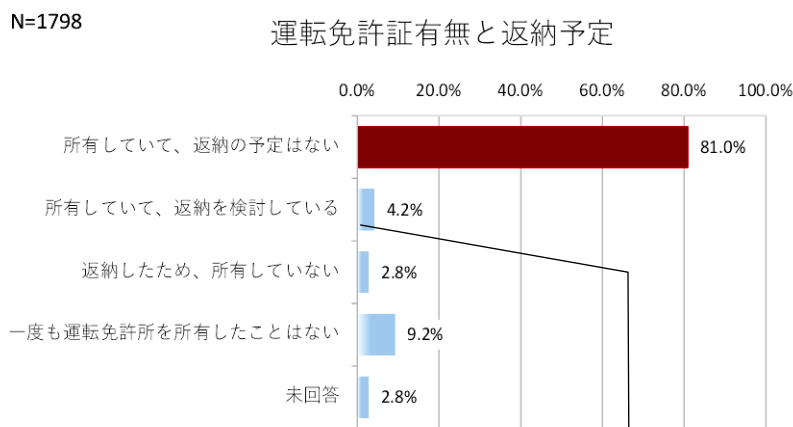
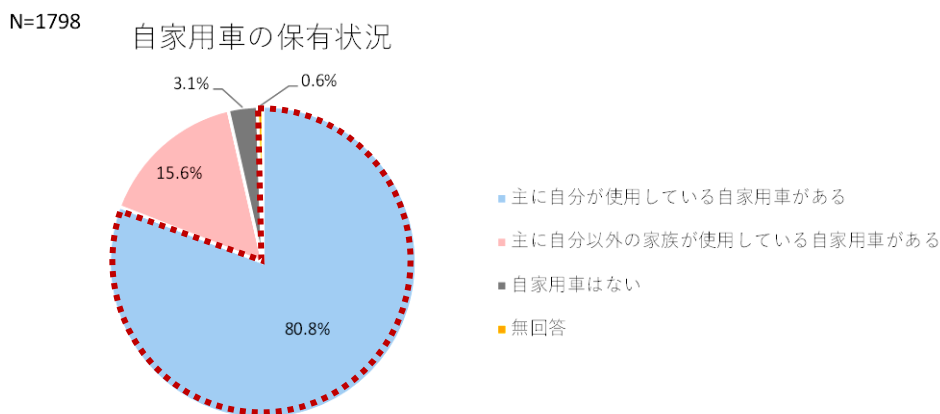


図 市民の自家用車および運転免許保有状況と免許返納時期（市民アンケートより）

参考：免許返納予定者の実態

- 免許返納予定者の年齢は、どの地区においても大多数は65歳以上の高齢者で構成されている。
- 各地区別の免許返納状況では、本宮・高木地区が他の地区よりも『所有して返納の予定はない』と答えた割合が僅かだが低く、自家用車を運転しない市民や、今後返納を予定している市民の割合が高い。

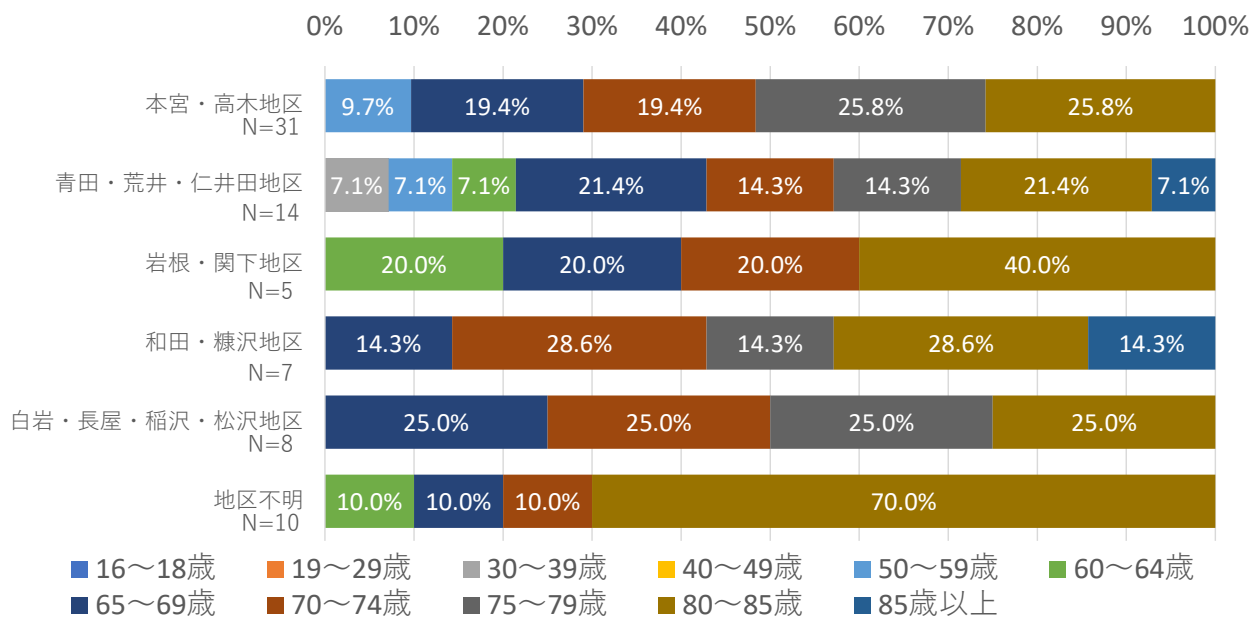


図 免許返納予定者の地区別年齢構成（市民アンケートより）

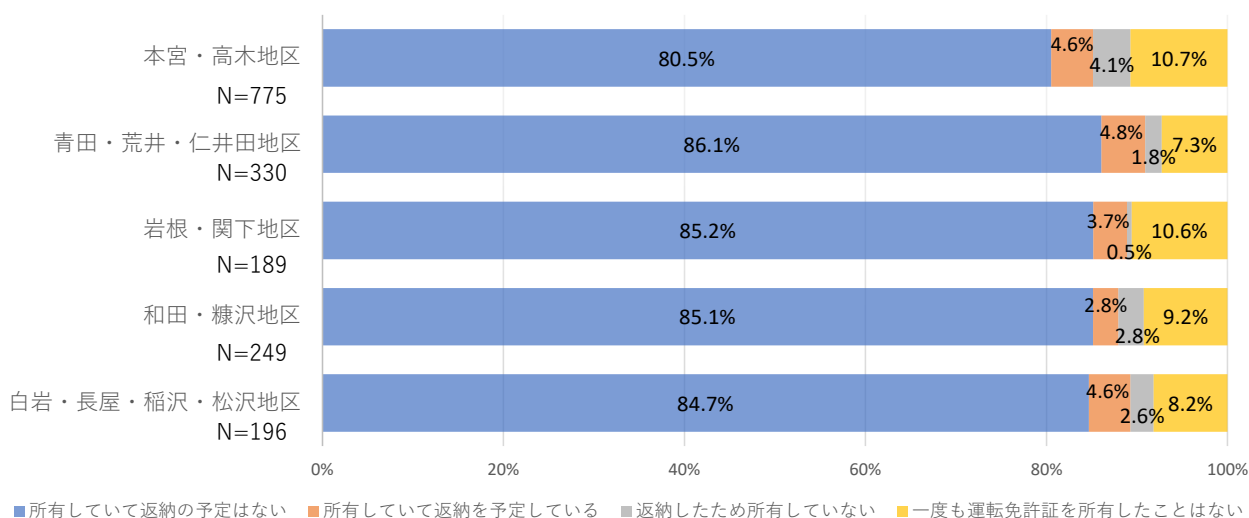


図 地区別免許保有状況（市民アンケートより）

4-2-3 市民の移動先

■市民の買物の外出先は主に市内に留まっているが、通院・通勤・通学においては市外（郡山市など）への流出も多い

- アンケート結果では、市民の移動目的地について、買物は半数以上の市民が『市内』で済ませている。
- 一方、通院・通勤・通学においては、一定数の市内利用者は確認できるものの、半数以上が『市外（郡山市など）』に立地する施設を利用している。

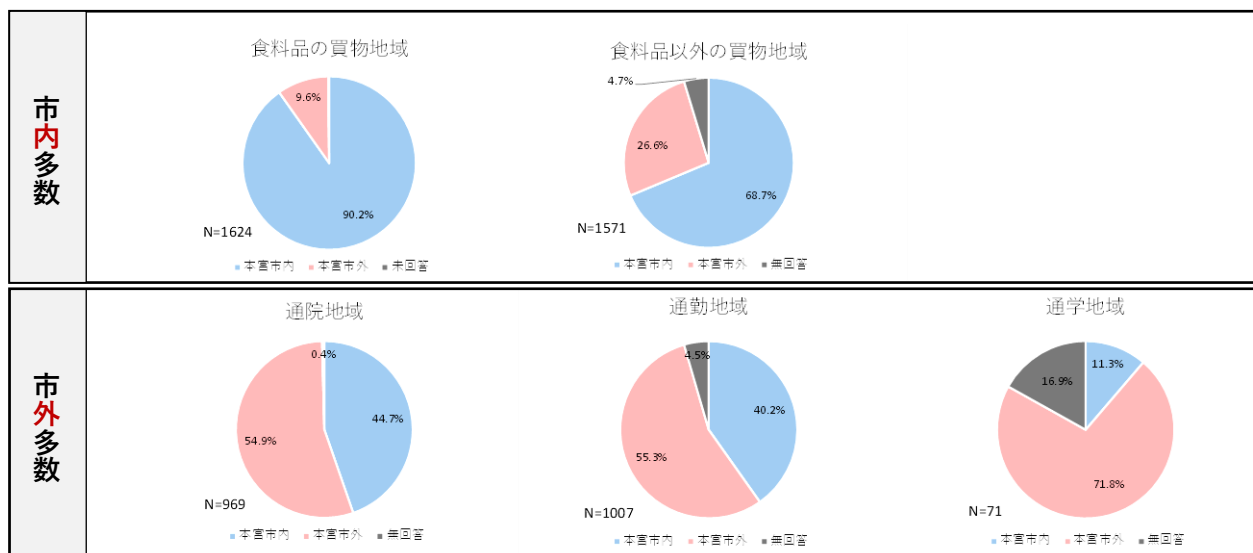


図 市民の移動先（市民アンケートより）

4-2-4 市民の具体的な移動先

■市民の具体的な買物先は、市街地部に位置する商業施設を利用しているが、郊外部の商業施設にも一定程度のニーズが存在することを確認した

- アンケート結果では、食料品の購入を目的とした市内の買物について『ヨークベニマル新本宮館町店』や『リオン・ドール本宮店』、『ザ・ビッグ本宮店』など市街地部の店舗の利用が多い。
- また、郊外部の幹線道路沿いのエイトタウン本宮に立地する商業施設である『ヨークベニマル本宮インター店』の利用も多い。
- 食料品以外の具体的な買物先についても、市街地部に位置する『サンドラッグ本宮店』が多いが、エイトタウン本宮に立地する商業施設である『ツルハドラッグ本宮店』や『ダイユーエイト本宮店』の利用も多い。

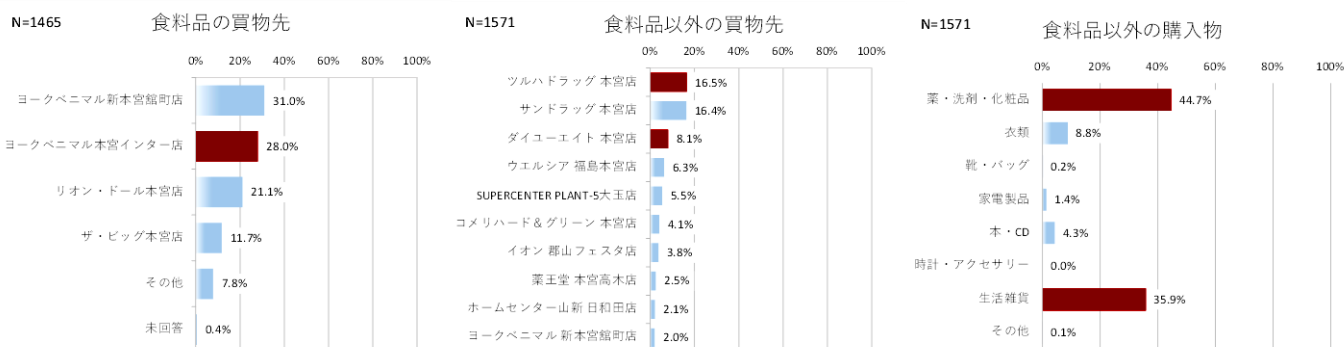


図 市民の具体的な移動先（市民アンケートより）

■市民の具体的な通院先は、市内では市街地部に集中し、市外では郡山市の施設を利用している

- アンケート結果では、市民の通院先について『谷病院』や『渡辺クリニック』など、主に市街地部に立地する病院が利用されている。
- また、市外の通院先として、約7割が郡山市に通院しており、中でも『総合南東北病院』への通院が最も多い。

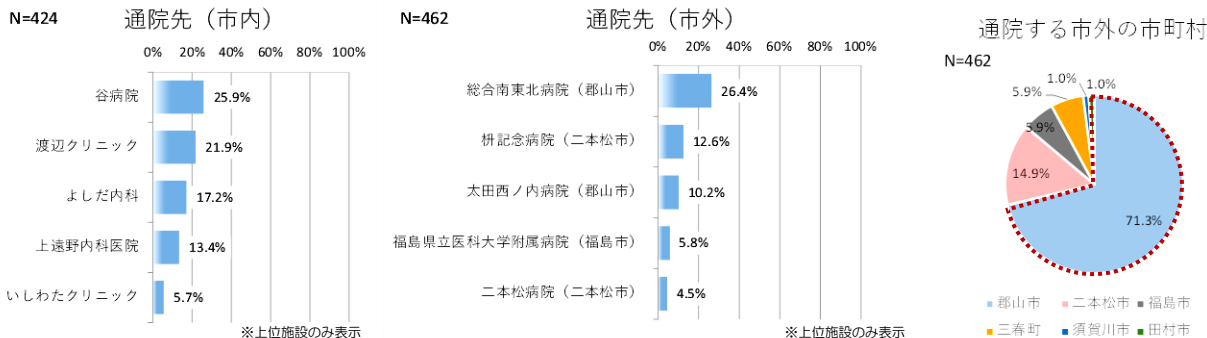


図 市民の具体的な通院先（市民アンケートより）

4-2-5 市民の外出頻度

■外出頻度について、買物は『週に1～2回』の外出、通院は『月に1回程度』の外出が最も多い

- 毎日の外出となる場合が多い通勤・通学以外の買物・通院における外出頻度について、アンケート結果では、買物は『週に1～2回』の外出が最も多く、通院は『月に1回程度』の外出が最も多い。

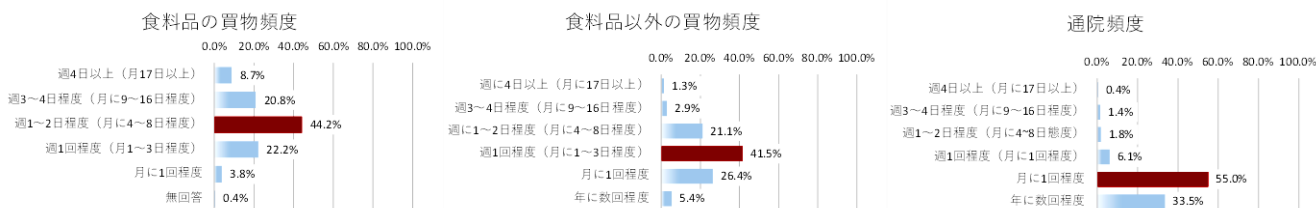


図 市民の外出頻度（市民アンケートより）

4-2-6 市民の外出曜日

■基本的に市民の買物・通院目的で外出する曜日は特に決まっていないが、買物は土日が比較的多く、通院は月～土まで均一に外出が存在する

- 毎日の外出となる場合が多い通勤・通学以外の買物・通院における外出曜日について、アンケート結果では、どの移動目的においても『特に決まっていない』との回答が最も多い。
- なお、買物は『土日』の外出が比較的多く、通院は主要な病院の多くが休診日となる日曜日を除いた『月～土』に均一の外出がある。

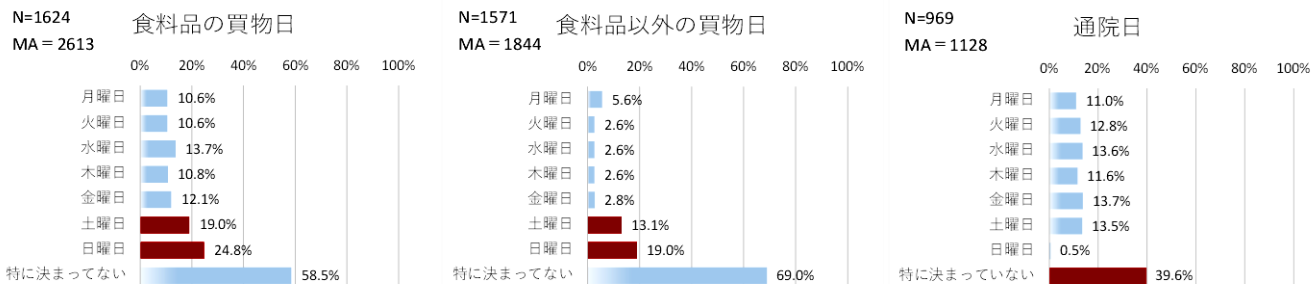


図 市民の外出曜日（市民アンケートより）

4-2-7 市民の通勤・通学先

■市民の通勤・通学先は、どちらも主に郡山市に存在する

○アンケート結果では、毎日の外出となる場合が多い通勤・通学時の移動先として、約半数が『郡山市』に移動している。

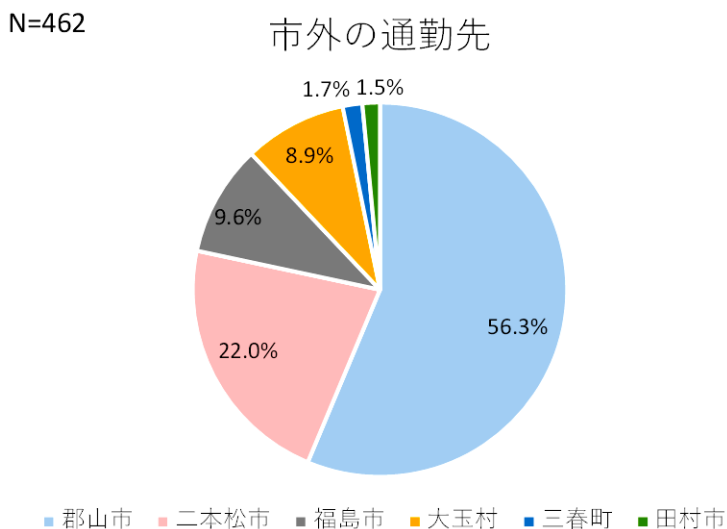


図 市民の具体的な通勤先（市民アンケートより）

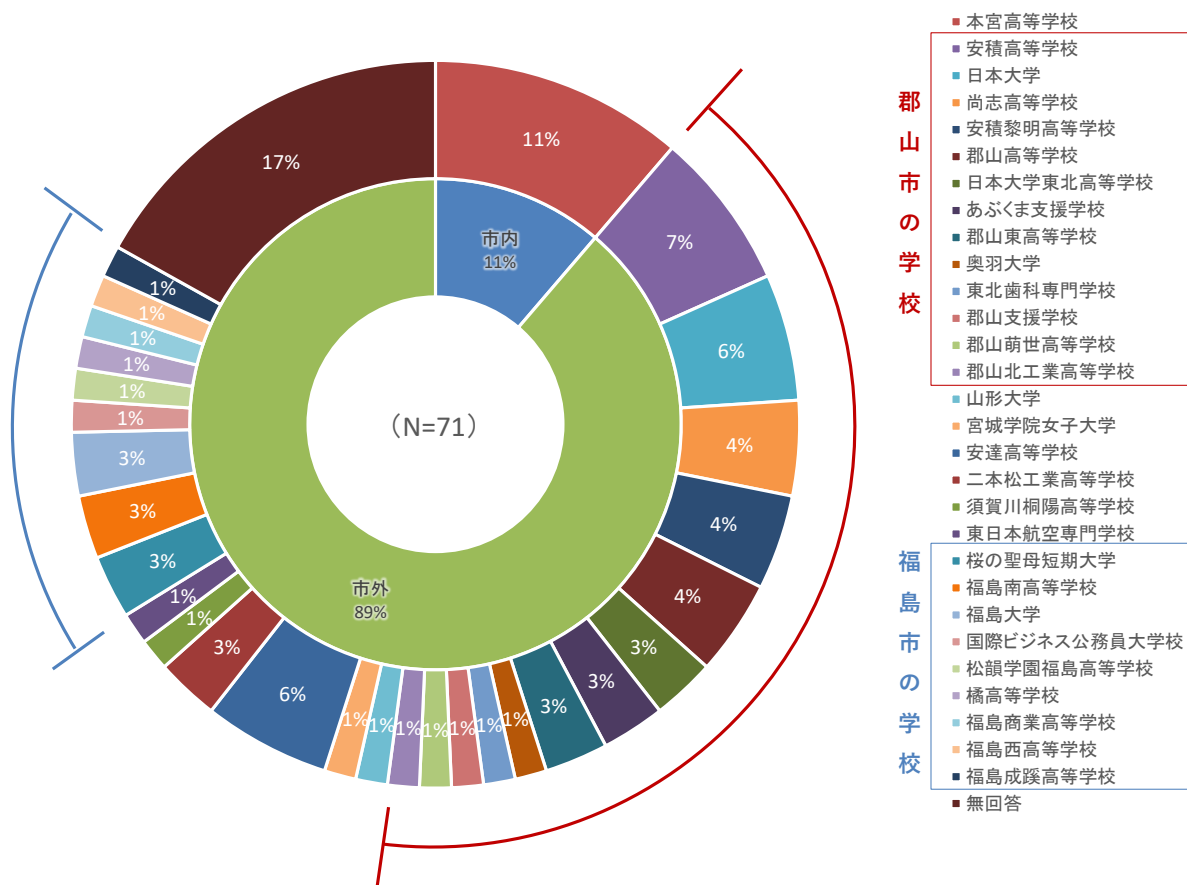


図 市民の具体的な通学先（市民アンケートより）

●新型コロナの外出頻度への影響

■新型コロナの外出頻度への影響については、買物では約7割、通院では約9割の市民が影響を受けていない

○アンケート結果では、新型コロナによる市民の外出頻度の変化について、食料品・日用品の買物は、約7割の市民が影響を受けておらず、約2割の市民が『回数が減少した』ことを確認した。また、僅かではあるが一部の市民が『宅配・ネット等での購入が主になった』など生活様式が変化している。

○通院では、約9割の市民が影響を受けておらず、ほぼ生活様式に変化が見られない。

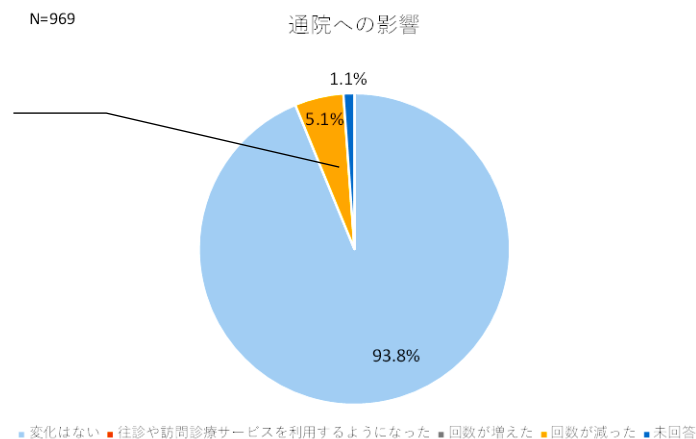
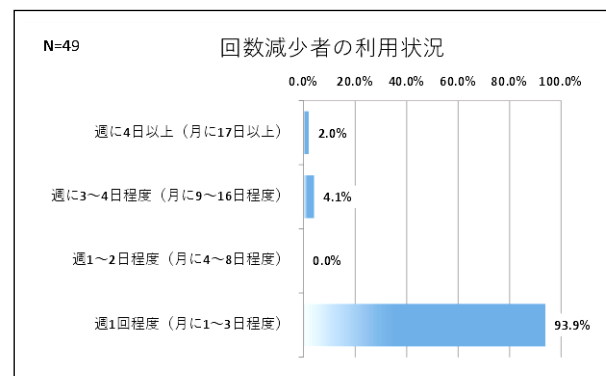
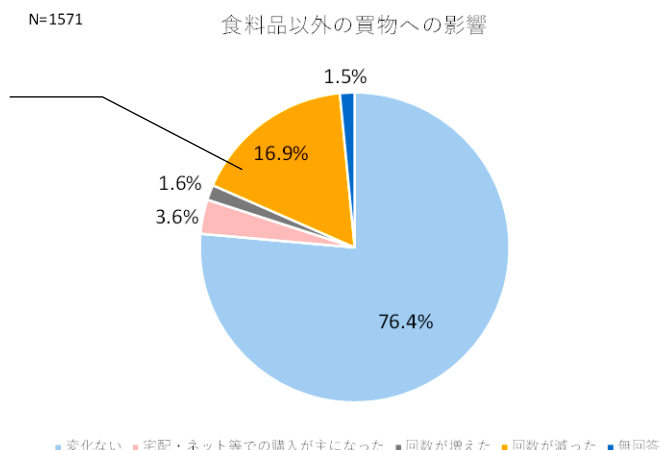
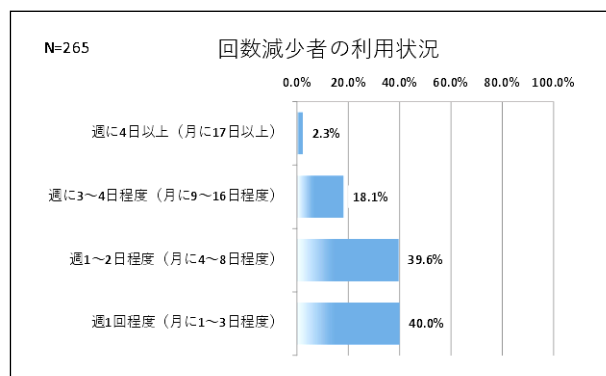
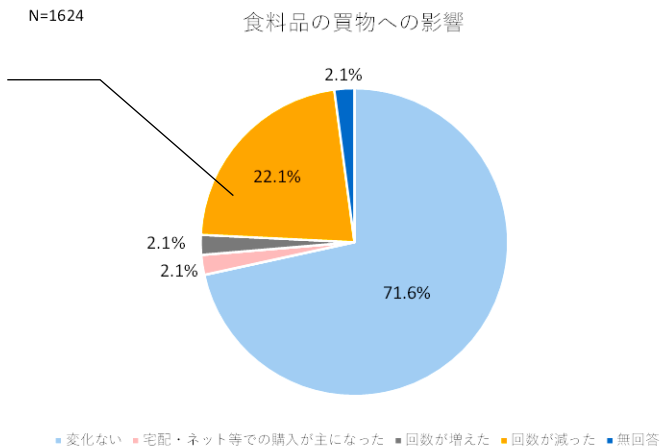
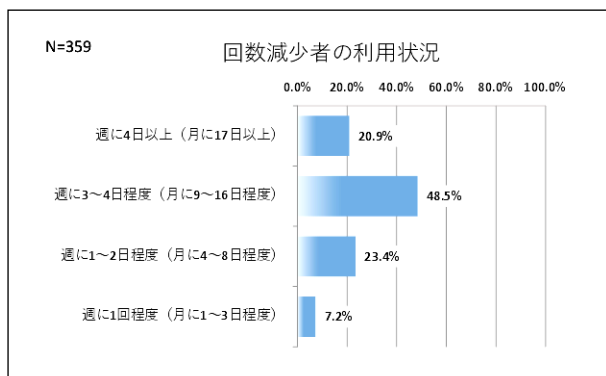


図 市民の新型コロナによる外出頻度の変化（市民アンケートより）

4-3 公共交通の利用実態と問題点

●公共交通に対する市民の意見（市民アンケート）

■利用者は現状の運行に対して『運行時間が合わない』や『行きたい目的地に行かない』などの困りごとを抱えている

○9割以上の市民が過去30日以内に公共交通を『利用していない』と回答している。

○『利用した』と答えた一部の市民が抱える利用時の困りごとは『運行時間が合わない』や『行きたい目的地に行かない』などの運行内容に関する指摘が多い。

過去30日の公共交通の

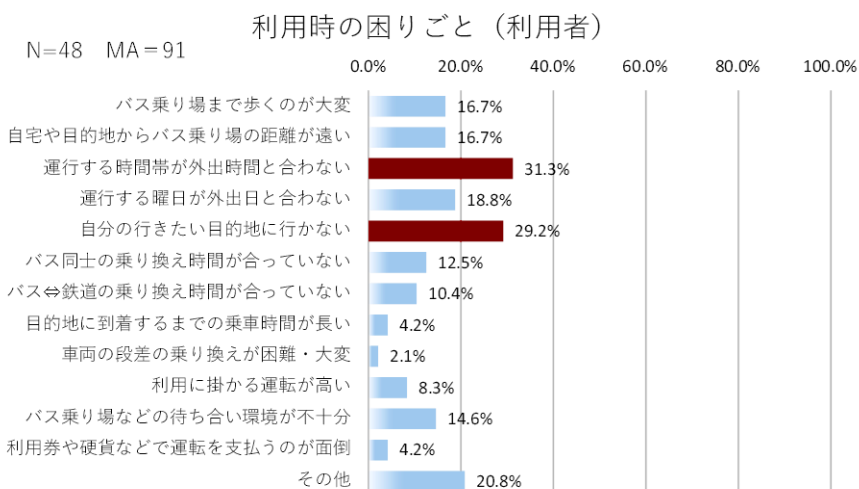
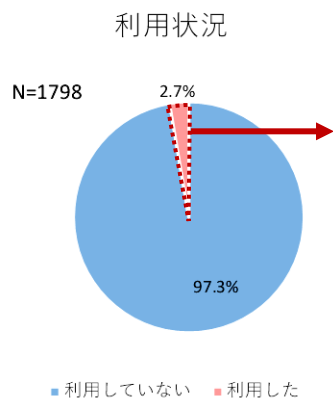


図 公共交通利用者の利用時の困りごと（市民アンケートより）

■公共交通を利用したいが利用できない理由として『目的地に行かない』や『自宅付近を運行していない』など運行に関する理由が多いことに加え、『いつ運行しているかわからない』など利用方法・情報発信に関する指摘も多い

○アンケート結果では、公共交通を利用しない（できない）理由として9割以上が『自家用車等の移動手段がある、利用する必要がない』と回答している。一部の公共交通を利用したいが利用できない市民は『目的地に行かない』や『自宅付近を運行していない』など運行に関する理由から利用できていない。

○また、『いつ運行しているかわからない』など利用方法・情報発信に関する指摘も多い。

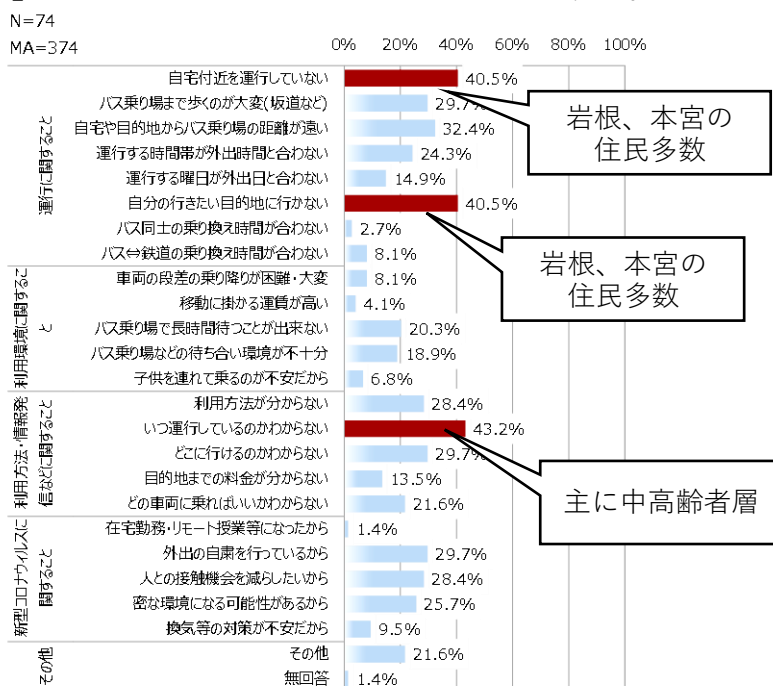
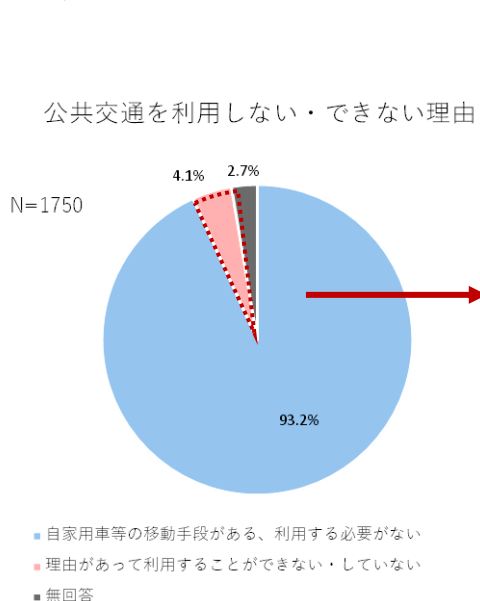


図 公共交通非利用者の困りごと（市民アンケートより）

4-3-1 公共交通の利用状況（利用者アンケート）

■利用者の約8割が60歳以上であり、最も利用されている市運営の公共交通は『もとみやイクタンタクシー』

- アンケート結果では、市内の公共交通を利用する市民の約8割が60歳以上である。
- 最も多く利用されている市運営の公共交通は、デマンド形式で運行している『もとみやイクタンタクシー』である。

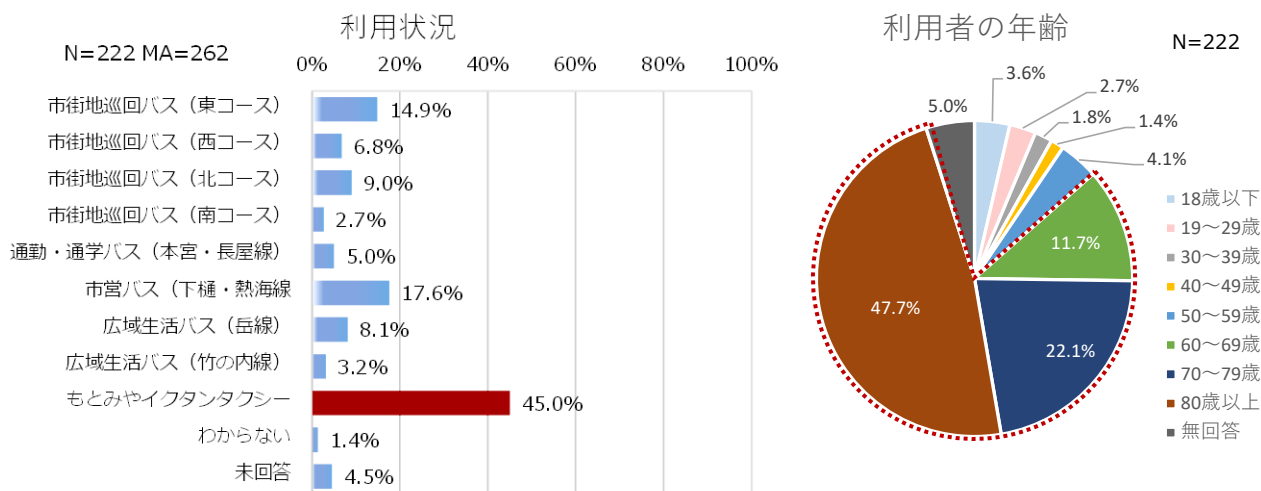


図 公共交通利用状況（利用者アンケートより）

■主な利用目的は食料品などの買物や通院に用いられており、一部で鉄道への乗り継ぎ利用はあるものの、多くの利用者は乗り継ぎを行っていない

- アンケート結果では、市内の公共交通の利用目的として、食料品の買物や通院に利用している。
- 市運営の公共交通は、市内の目的地であれば乗り継ぎ不要で移動できる場合が多いため、一部で鉄道への乗り継ぎ利用があるものの、多くの利用者は乗り継ぎを行わない。

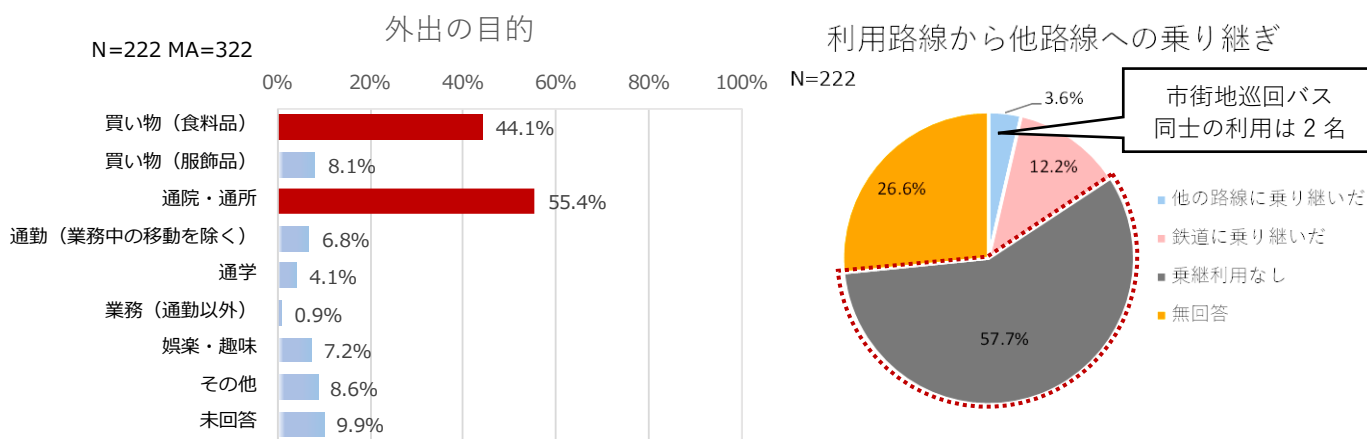


図 公共交通利用目的と乗り継ぎの有無（利用者アンケートより）

■利用者の約6割はアンケート回答時に乗車した路線以外にも移動手段を有しているが、もとみやイクタンタクシーの利用者の多くは、市運営の公共交通以外の移動手段を選択している

- アンケート結果では、利用者の約6割はアンケート回答時に乗車した路線以外にも移動手段を有している。
- 一方で、2割の利用者は、現在利用する移動手段が廃止となった場合、移動手段が存在しない。
- また、代替の移動手段として、現在もとみやイクタンタクシーを利用していない多くの利用者が、もとみやイクタンタクシーと回答しており、市民のセーフティーネットとなっている。
- なお、既にもとみやイクタンタクシーを利用している利用者の多くは、市運営の公共交通以外の家族の送迎やタクシーなどの選択肢が多く選択されている。

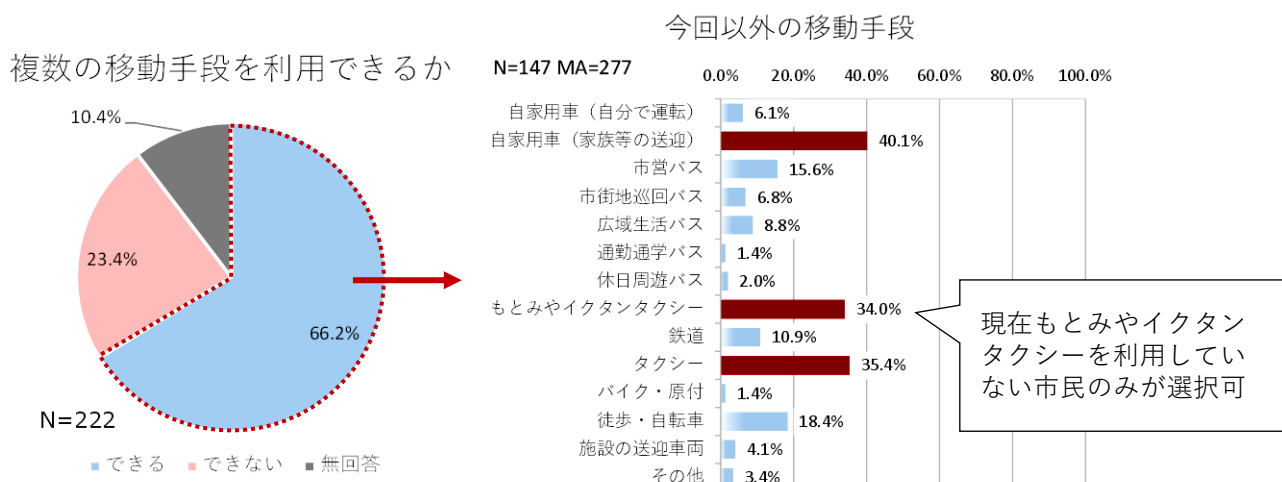


図 利用路線以外の移動手段の有無（利用者アンケートより）

■公共交通の利用時間帯について、行きは『10時～12時』、帰りは『11時～13時』に多く見られるが、各路線の運行時間の関係上、帰りの時刻にばらつきが生じている

- アンケート結果では、市民の公共交通の利用時間帯について、行きは『10時～12時』、帰りは『11時～13時』に多く見られる。
- なお、市街地巡回バスのように1台の車両で複数の路線を運行している関係上、全ての同時刻に運行することは難しいため、帰りの時刻にばらつきが生じている。

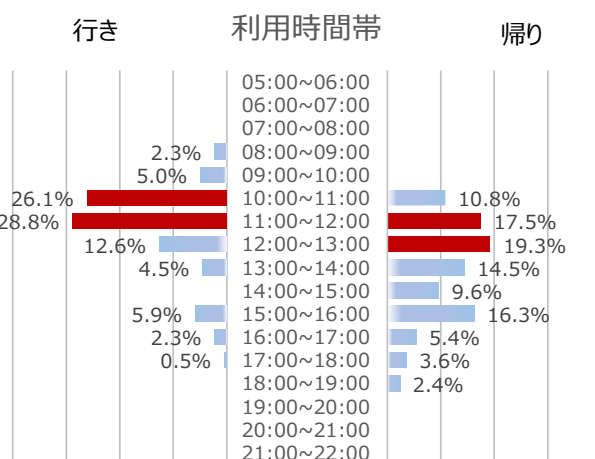


図 調査時の利用時間帯（利用者アンケートより）

4-3-2 公共交通に対する市民の意見（利用者アンケート）

■利用者の半数程度が現状の運行内容に不満を感じており、中でも『土日も利用したい』との回答が最も多かった

- アンケート結果では、利用者の半数程度が現状の運行内容に不満を感じている。
- 利用者が不便を感じる不満の中でも『土日も利用したい』との回答が最も多い。

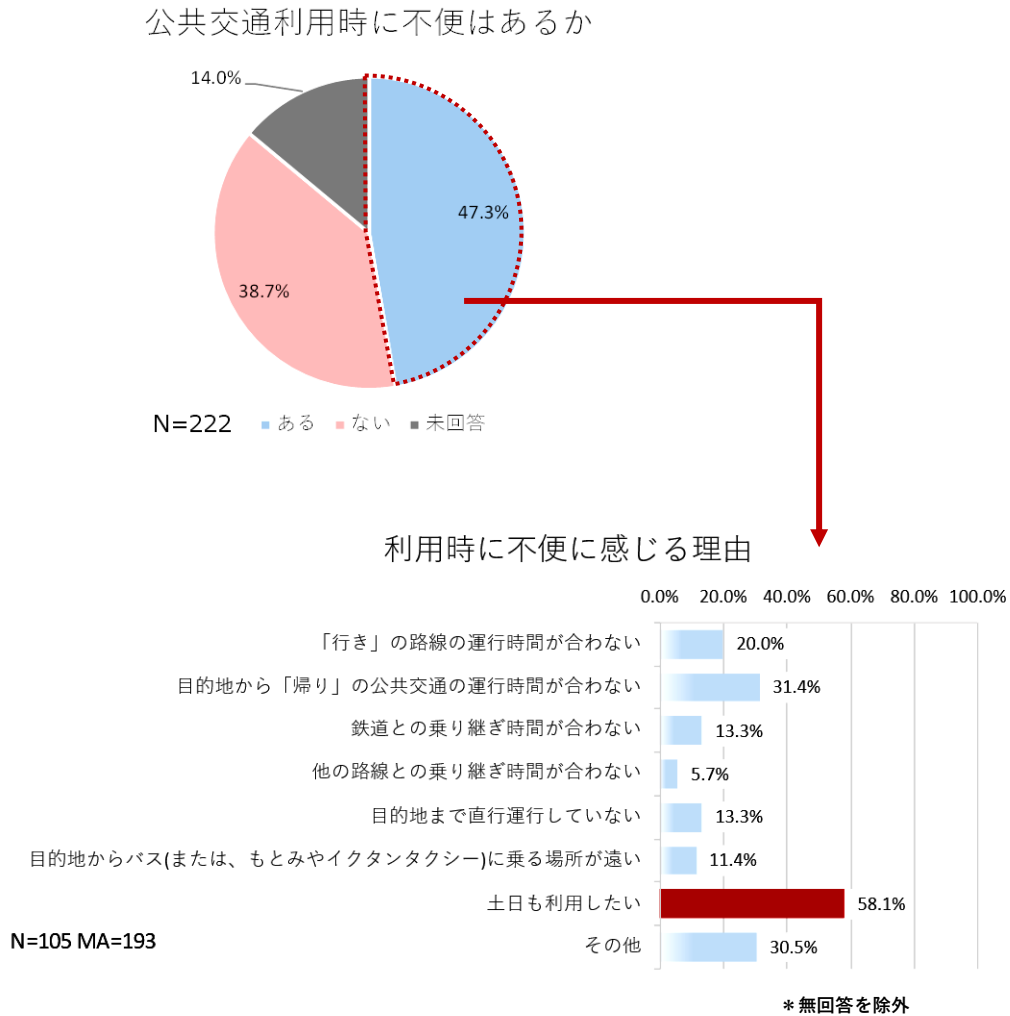


図 公共交通に対する不満（利用者アンケートより）

4-3-3 鉄道（JR東北本線）

■ JR東北本線『本宮駅』は主に定期利用の通学者に利用されており、利用者数は5年間で100人程度減少している

- JR東北本線『本宮駅』の利用者数は2015年時点では1,847人であったが、2019年時点では1,721人と5年間で約100人程度の利用者数が減少している。
- また、全体の約7割が定期を利用しており、毎日の外出となる場合が多い通勤・通学者が用いていると考えられる。
- なお、前述のアンケート結果では、通勤時には1割以下の市民が鉄道を利用しているのに対して、通学時は約6割の市民が鉄道を利用していることから、定期利用者の多くは高校生であると考えられる。

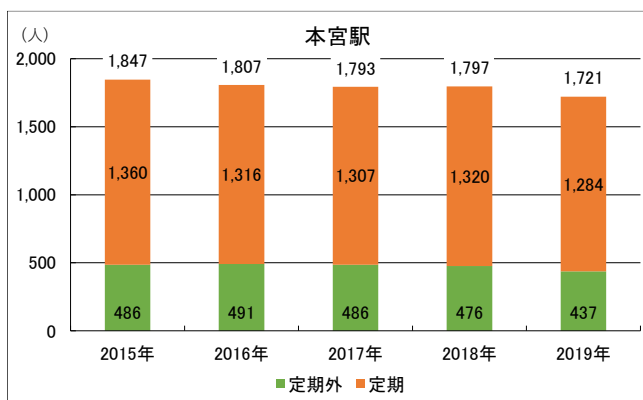


図 本宮駅の年間利用者数

※五百川駅は、無人駅の為、利用者数のデータなし

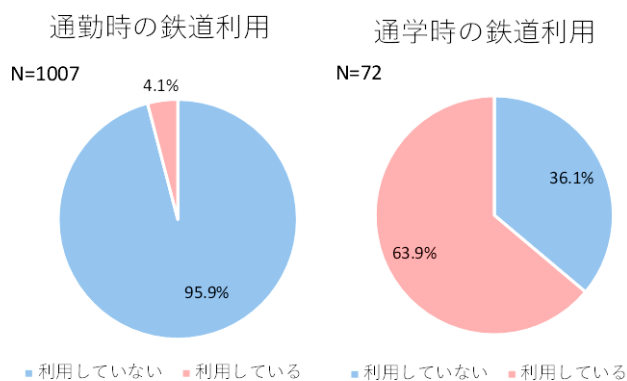


図 通勤・通学時の鉄道利用状況（再掲）

■ 市民の通勤・通学における移動ニーズは郡山駅方面に集中している

- 市民の約8割が通勤・通学時に乗車する駅として『本宮駅』を利用している。
- 降車する駅は、一定程度『福島駅』などの回答はあるものの、5割以上の市民は『郡山駅』で降車しており、郡山駅方面に向かう便の乗車に一定程度のニーズがある。
- なお、通勤・通学のどちらにも『五百川駅⇄本宮駅』という市内移動に用いる利用者が1名ずつ存在した。

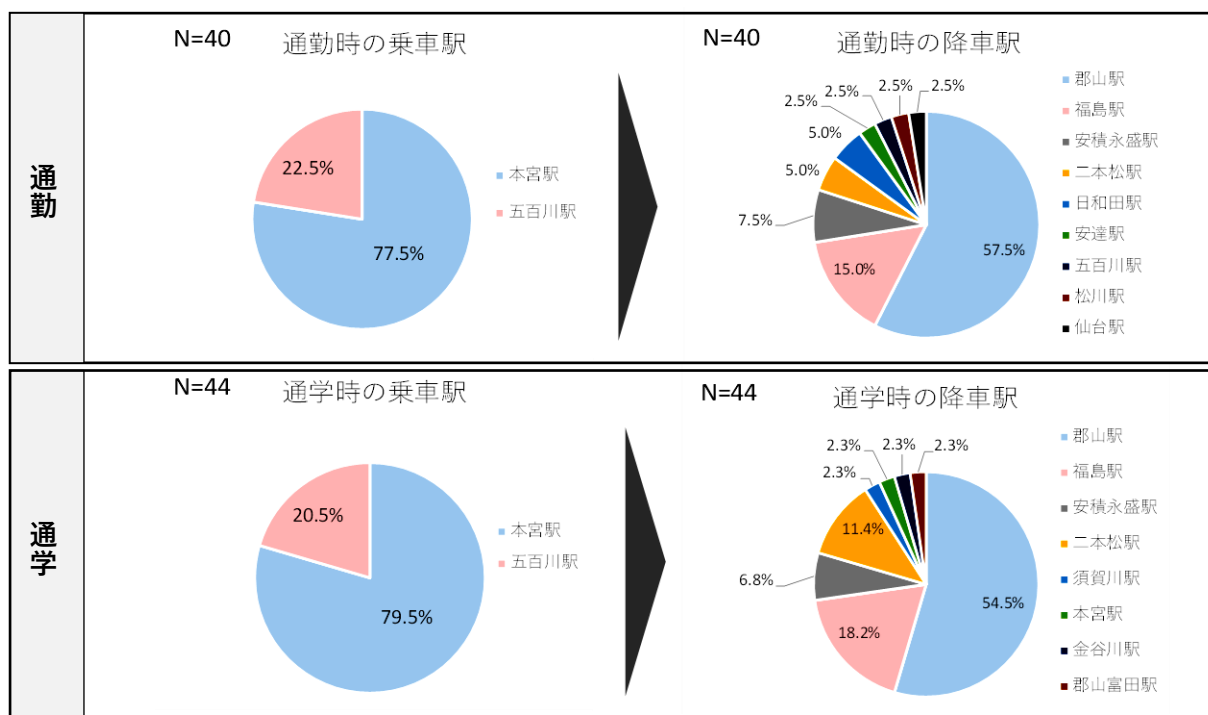


図 通勤・通学時の利用駅（市民アンケートより）

4-3-4 市街地巡回バス

■毎日一定数、利用されているバス停が存在する一方で、利用者が1.0人/日を下回る区間が散見されている

- 本路線はフリー乗降制を導入しており、利用者が好きな場所で乗降できる路線であることから、バス停ごとの利用者数ではないが、各コースの運行区間ごとの平均利用者数を次ページに整理した。
- 結果、本宮駅ではどの路線も毎日一定数の利用がある。
- 一方で、毎日誰かが利用するとは限らない、利用者数が1.0人/日を下回る区間が散見。

■運行特性上、乗り続けることで、コース間を跨いで利用することができるが、そのような利用者はほとんど確認できない

- 本路線は同一車両で複数のコースを循環する形で運行していることから、一度乗車すれば降車しない限り、全てのコースを同じ金額で利用することが可能となっている。
- このような利用ができるものの、市のHPなどに具体的な使い方が示されていないため、コースを跨いだ利用者はほとんど確認することができなかった。

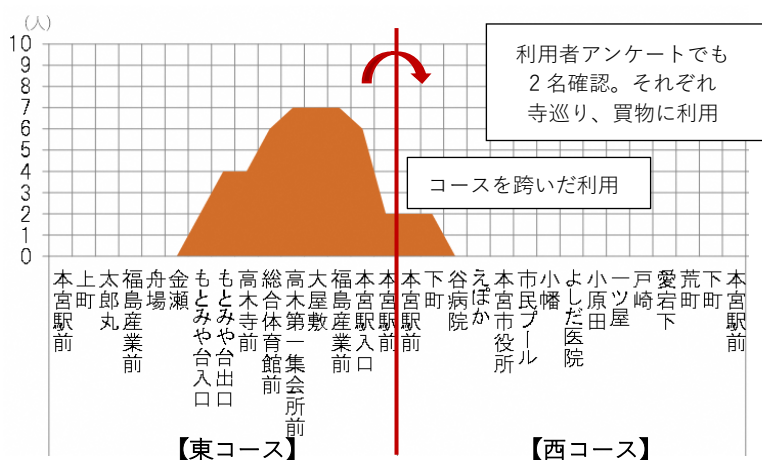


図 コースを跨いだ具体の利用例（2020/7/31実績）

■北コースのみ市民の買物先を經由しておらず、運行内容が市民の移動ニーズに合っていない可能性が存在。また、商業施設付近を運行している路線でも、ほとんど利用がない路線を確認した。

- 西コースは『ヨークベニマル 新本宮館町店』、東コースは『リオン・ドール 本宮店』、南コースは『ザ・ビッグ 本宮店』と前述のアンケート結果において、目的地となっている商業施設へ運行しているが、北コースのみが、これらの主要な商業施設を經由していないことから利用者のニーズに合わない運行が行われている可能性がある。
- また、西コースのように『ヨークベニマル 新本宮館町店』付近を經由する路線でありながら、ほとんど利用されていない実態が存在する。

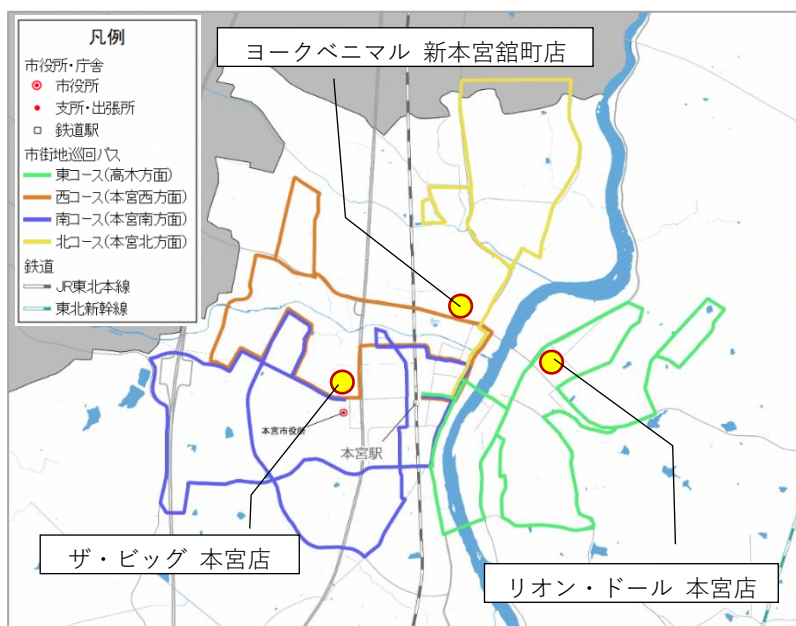


図 市街地巡回バスの運行経路

第4章【参考】本宮市の公共交通の現状（詳細版）

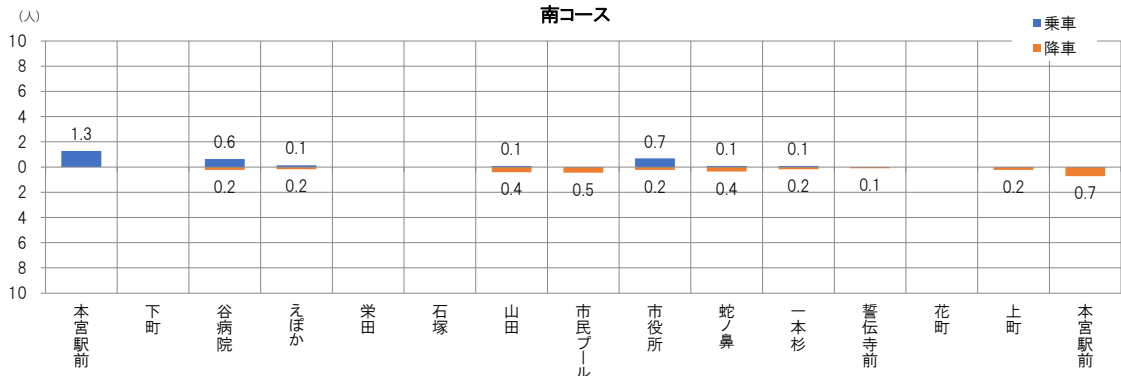
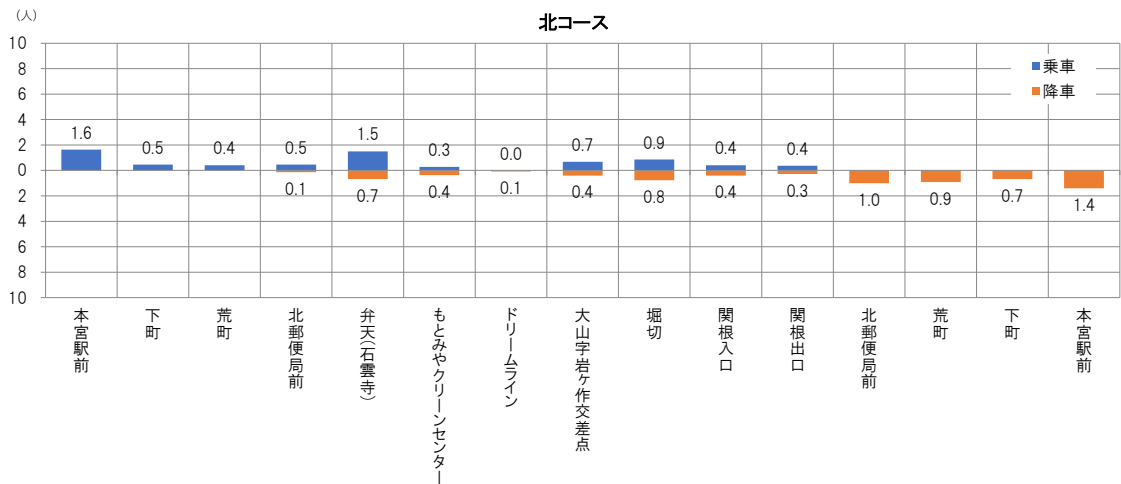
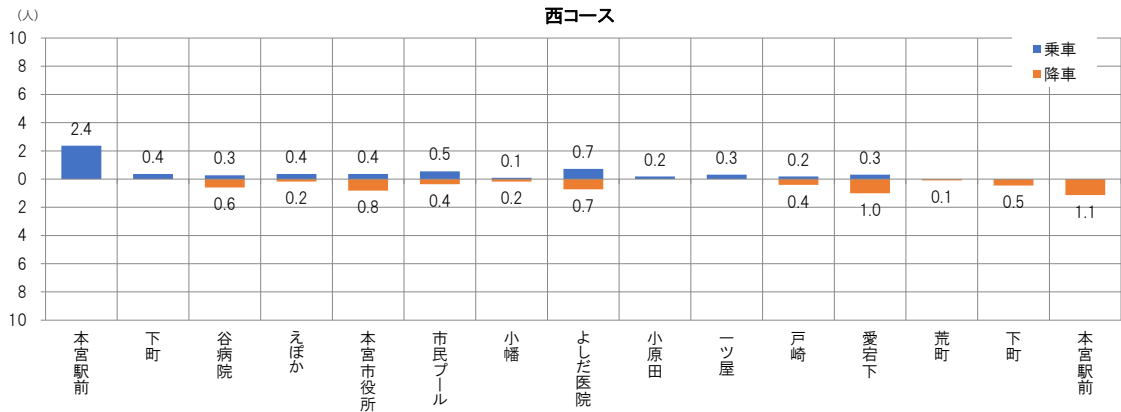
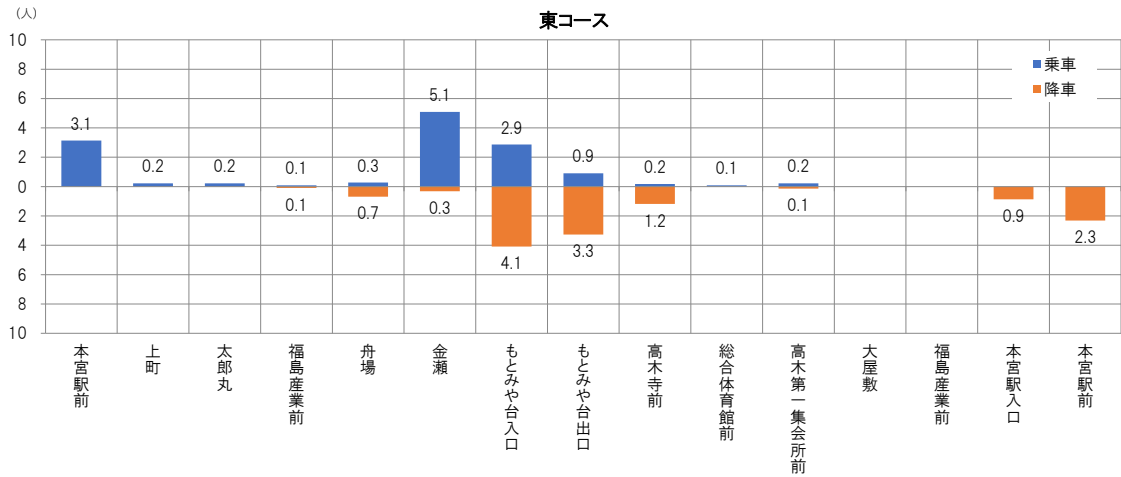


図 市街地巡回バスの区間別平均利用者数
(R1.7月のみの運行実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出)

4-3-5 通勤・通学バス

■征矢田方面からの利用者は少ないが、概ね毎日1人程度の利用がみられる

- 本路線は過去に運行していた路線バスの代替交通として征矢田～本宮高校前～本宮駅間を朝夕運行するものである。
- 利用者が多い本宮駅発の1，2便は、『本宮駅前⇒本宮高校前』の運行となっており、征矢田まで経由している他の便の利用者数はどれも毎日1人程度となっている。

■朝の通学利用者が多い本宮高校前～本宮駅間の下校のための便が運行していない

- 本路線の利用者数が多い本宮駅発の1，2便については、主に高校生の通学手段として利用されているものと考えられるが、反対方面への運行となる征矢田発の便は朝6時台の便しか運行していない。
- なおかつ、他路線で高校付近を運行する市街地巡回バス東コースやもとみやイクタンタクシーは最終便が15時台であることから下校利用には活用しにくい。
- そのため、通学利用者は実質的に徒歩や家族の送迎で通学する必要がある。

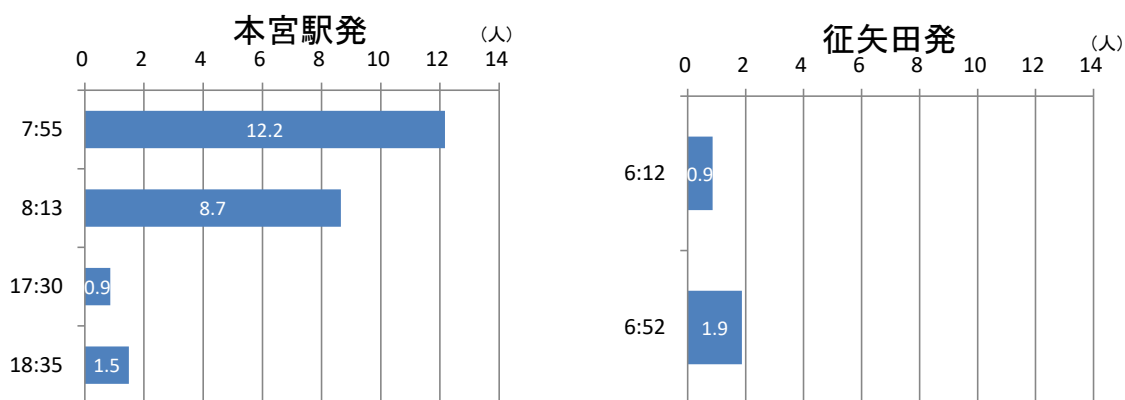


図 通勤・通学バスの便別平均利用者数
(R1の年間実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出)

4-3-6 市営バス

■主に『太田熱海病院』への通院、『ヨークベニマル新本宮館町店（愛宕下）』への買物、本宮駅で市外移動への接続に用いられている

- 本路線は本宮駅～太田熱海病院間を運行する路線であり、主に『太田熱海病院』への通院のために利用や、バス停『愛宕下』は『ヨークベニマル新本宮館町店』付近に設置されており、利用者也毎日1人程度存在することから、買物利用にも用いられている。
- なお、『太田熱海病院』の周辺には温泉施設があり、入浴も可能だが、利用者および市民アンケートの結果からは温泉のための移動実態は確認されなかった。

■買物ニーズの高い『ヨークベニマル本宮インター店』付近や市外への移動手段となる『五百川駅』周辺を運行しているが、運行経路にそれらの施設は含まれていない

- 本路線は、買物ニーズの高い『ヨークベニマル本宮インター店』付近や市外への移動手段となる『五百川駅』周辺を運行しているが、運行経路にそれらの施設は含まれていない。
- そのため、市営の公共交通を利用した買物は『ヨークベニマル新本宮館町店』付近にあるバス停『愛宕下』で乗降する必要があり、鉄道を利用する場合でも、終点『本宮駅』で乗降することから、これらの施設を利用する利用者には非効率に感じる運行である。

■太田熱海病院方面への最終便については、『太田病院前』までの利用が殆どなく、運行時に車内に利用者がいなければバス停『下樋』で引き返すことで、効率的に運行できる可能性が存在している

- 太田熱海病院方面への最終便はバス停『太田病院前』まで乗車している利用者はほぼ存在せず、帰るための本宮駅方面への運行も存在しない。
- そのため、バス停『太田病院前』の1つ前のバス停『下樋』間の約5.5km（約10分）に非効率な運行が生じており、車内に利用者がいない場合は引き返すことで効率的に運行を行い、運転手の負担を軽減することができる可能性がある。
- なお、始発便および最終便において、バス停『下樋～新岩根』間で利用者がほとんど確認できないことから、運行経路の短縮を検討することで、さらに効率的に運行できる可能性もある。

第4章【参考】本宮市の公共交通の現状（詳細版）

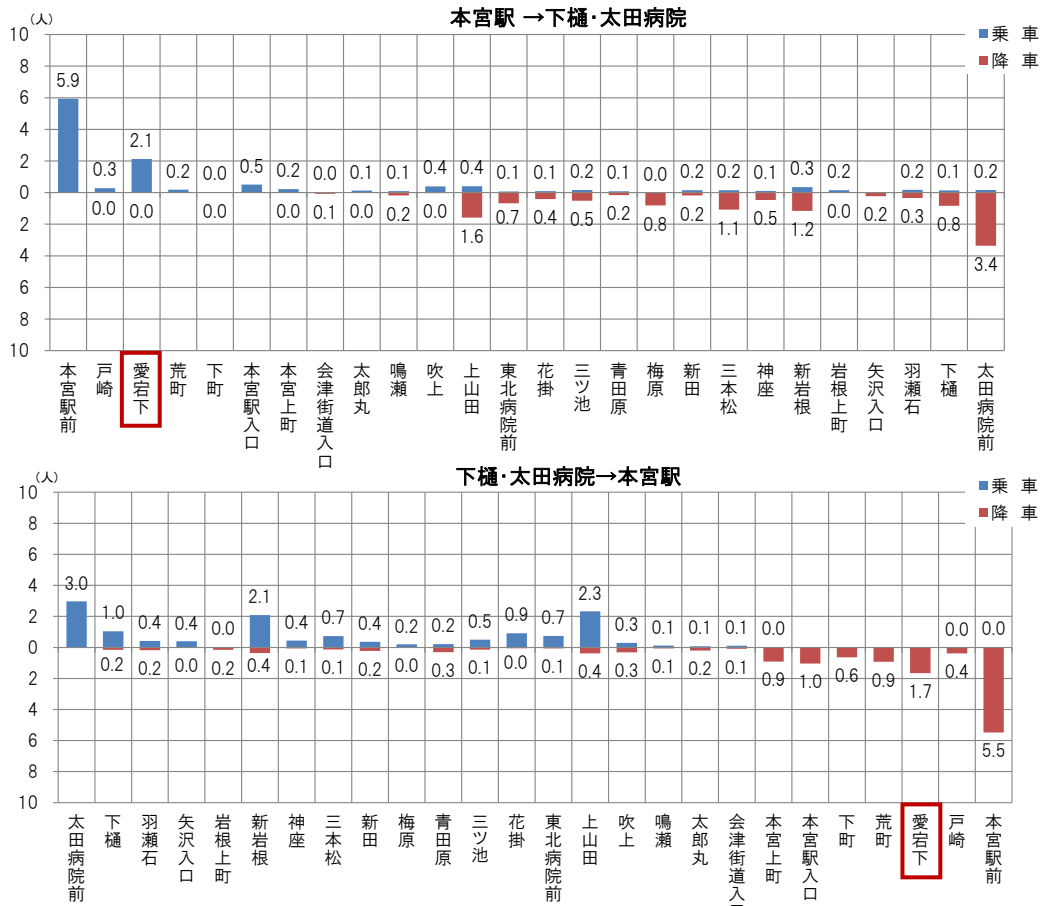


図 1 日当たりのバス停別利用者数（R1実績データより）
（R1の年間実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出）

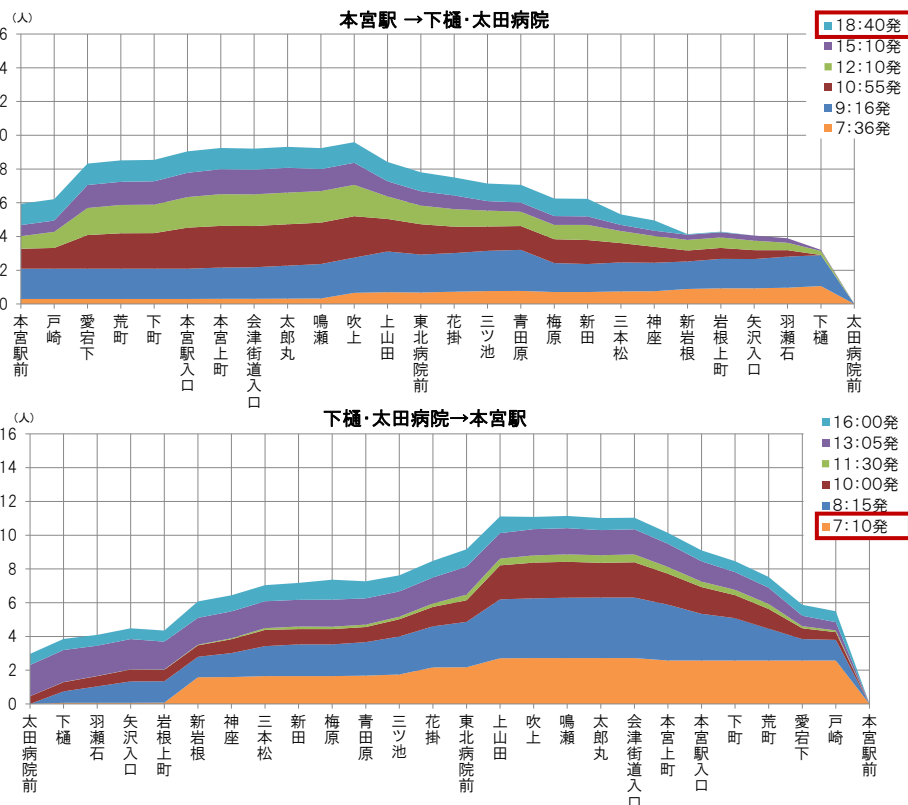


図 1 日当たりの便別車内人員
（R1の年間実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出）

4-3-7 広域生活バス

■岳線の主な利用は本宮駅等で市外移動や、ヨークベニマル新本宮館町店（愛宕下）への買物に用いられている

- 本路線は岳温泉～本宮駅間を運行する路線であり、主に『本宮駅』での乗降が多く、本宮駅等で市外移動への接続に用いられている。
- 利用者の居住地は、『岳温泉』や『皿久保』、『農協前』からの利用が多く、前述のとおり、主に『本宮駅』での利用に用いられていることが推測されるが、ヨークベニマル新本宮館町店付近のバス停『愛宕下』での乗降が見られることから、買物利用に用いられていることも推測される。

■竹の内線は、岳線と運行区間が重複し、全体的に各バス停での利用者の分散が生じ、本宮駅以外の全てのバス停で利用者数が1.0人/日を下回っており、適切な運行見直しが必要となる

- 本路線は糶免～本宮駅間を運行する路線であり、前述の岳線の運行区間内の寺久根～本宮駅間で運行経路が重複していることから、重複区間内で利用者が分散し、本宮駅以外の全てのバス停で利用者数が1.0人/日を下回っている。
- また、重複していない区間である糶免～西原間においても、ほとんど利用されていないことから、適切な運行頻度への見直しが必要になる。

■両路線とも利用者数が1.0人/日を下回る利用が少ない便が散見され、非効率に運行している

- 両路線ともに毎日1～3人程度が利用している便が存在する一方で、利用者数が1.0人/日を下回る利用が少ない便も散見されている。
- しかしながら、両路線を1台の車両で運行していることにより生じる回送的な意味合いを持つ便（本宮駅7：10発、8：22発など）も存在しており、一概に廃止することはできないが、利用が少ない各路線の最終便（岳温泉18：12発、本宮駅18：49発）については、後続便に影響がないことから、適切に見直しを検討する必要がある。

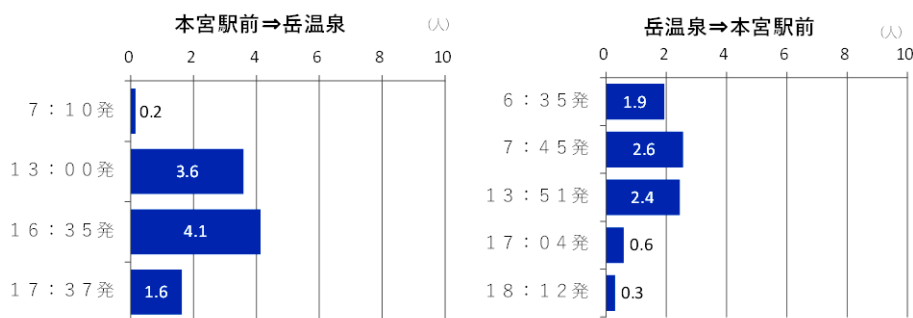


図 岳線の1日当たりの便別利用者数
(R1の年間実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出)

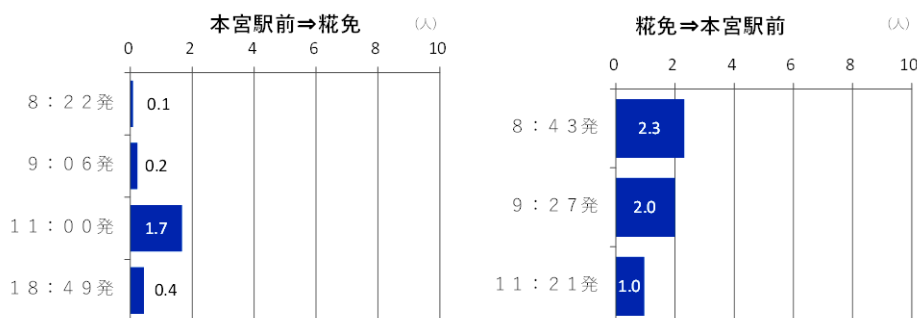


図 竹の内線の1日当たりの便別利用者数
(R1の年間実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出)

第4章【参考】本宮市の公共交通の現状（詳細版）

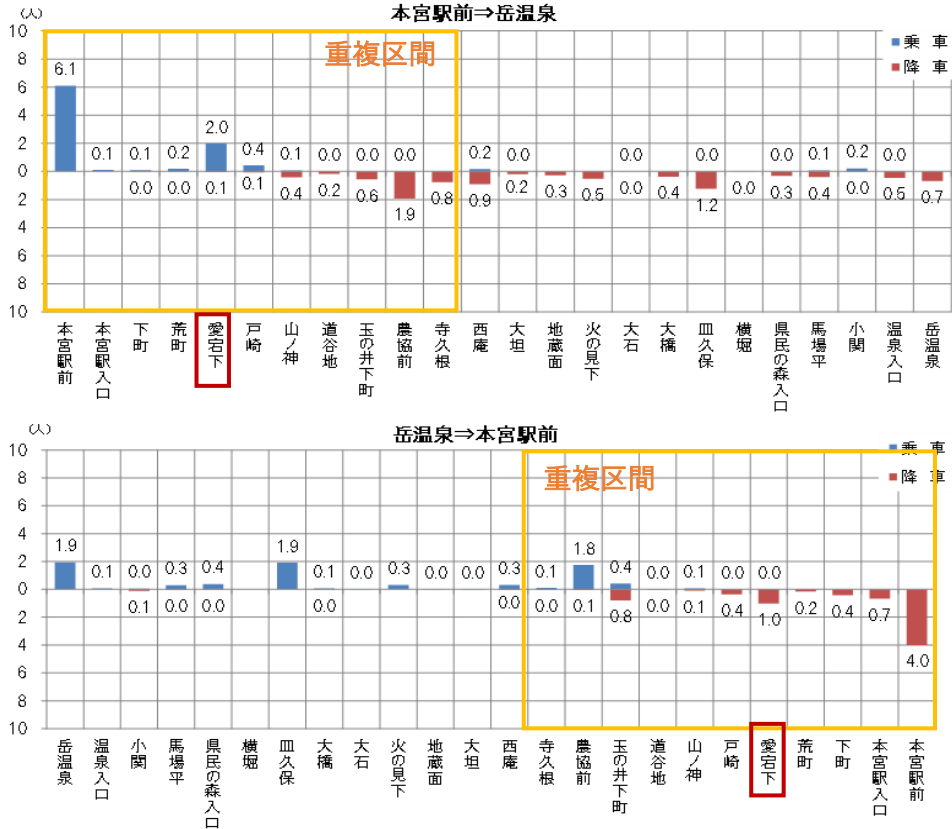


図 岳線の1日当たりのバス停別利用者数
(R1の年間実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出)

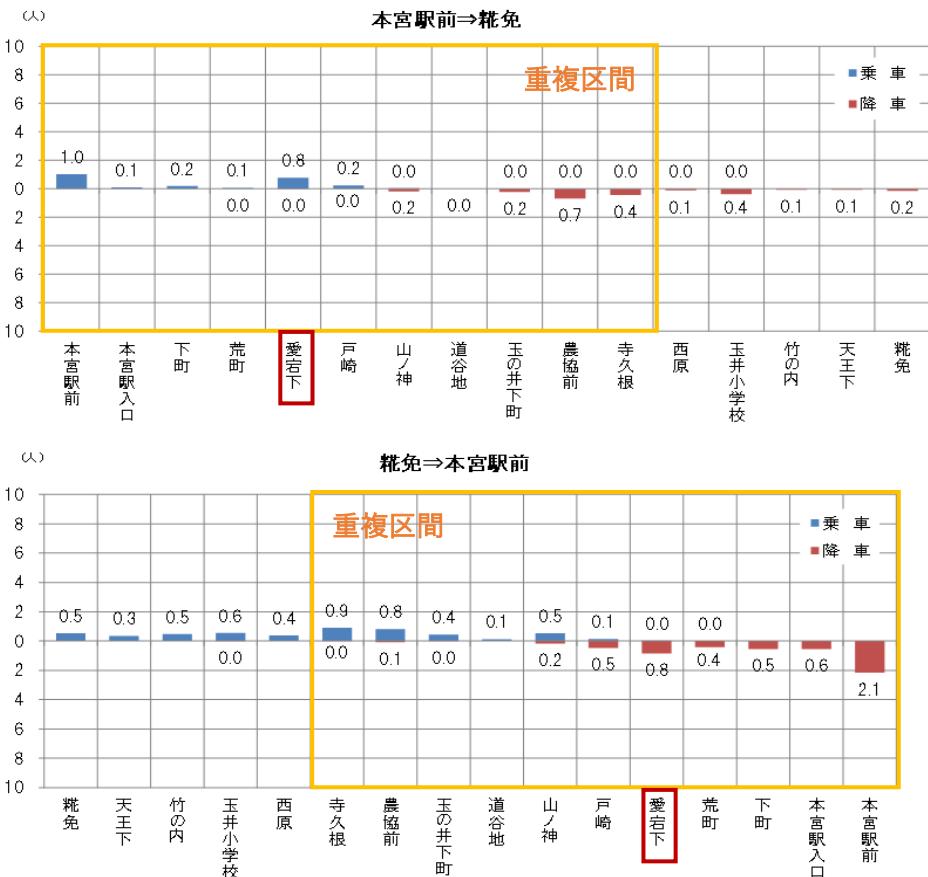


図 竹の内線の1日当たりのバス停別利用者数
(R1の年間実績データをもとに1日あたりの平均利用者数を算出)

4-3-8 もとみやイクタンタクシー

■基本的に医療施設や公共施設への運行となるため、市民の移動先となる商業施設への移動に利用することはできない

- 本路線はデマンド乗合タクシーであり、あらかじめ利用登録をしておけば、電話で予約するだけで、自宅までタクシーが迎えに来て、市街地の医療施設や公共施設への移動に利用することができる。
- 利用時は自宅まで迎えに来てもらえるが、降車場所は医療施設や公共施設など限定的である。そのため、『J A本宮支店』まで移動することはできるが、買物ニーズが高い施設である『ヨークベニマル新本宮館町店』や『リオン・ドール本宮店』『ザ・ビッグ本宮店』での食料品の購入や、『サンドラッグ本宮店』などの日用品の購入のための移動に利用することができない。
- なお、『よしだこどもクリニック』を降車地に設定することで、『リオン・ドール本宮店』付近で乗降することが可能となっている。
- 利用者アンケート調査では、もとみやイクタンタクシーの利用目的として、多くの利用者が本来の用途である通院等に用いているが、中には買物にも用いる利用者が存在する。

■30分間隔の高頻度運行のため、今後利用者が増加する場合、対応できない可能性がある

- 本路線は、広い範囲を30分間隔の高頻度で運行しているが、市街中心部から端部まで移動するのに15分程度要することから、利用者を乗車させ、目的地まで向かうまでに往復で30分程度の時間を要する。
- 今後、さらに自由な移動手段を持たない高齢者が増加した場合、ドライバーや車両などの交通資源不足によってサービス内容を下げざるを得ない可能性も存在している。

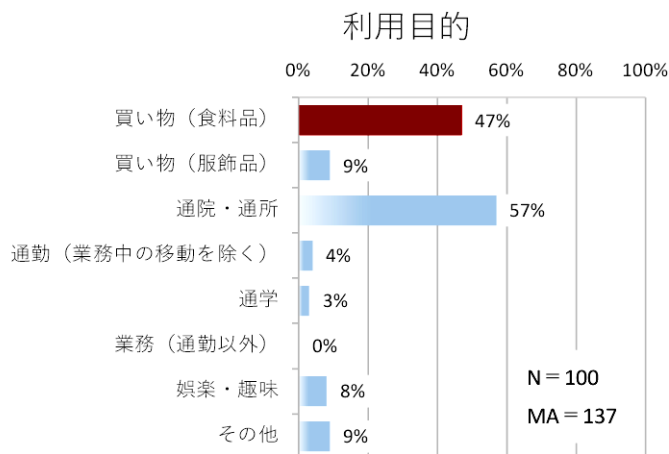


図 もとみやイクタンタクシーの利用目的 (利用者アンケートより)

市街地行き	帰り	行き	帰り
8時30分	—	8時30分	—
9時30分	10時00分	9時00分	9時30分
10時30分	11時00分	10時00分	10時30分
11時30分	12時00分	11時00分	11時30分
—	—	—	—
13時30分	14時00分	—	13時00分
14時30分	15時00分	13時30分	14時00分
—	15時30分	14時30分	15時00分
—	—	—	15時30分

図 白沢地区内巡回線の時刻表 (右)
白沢・本宮線と本宮地区内線の時刻表 (左)

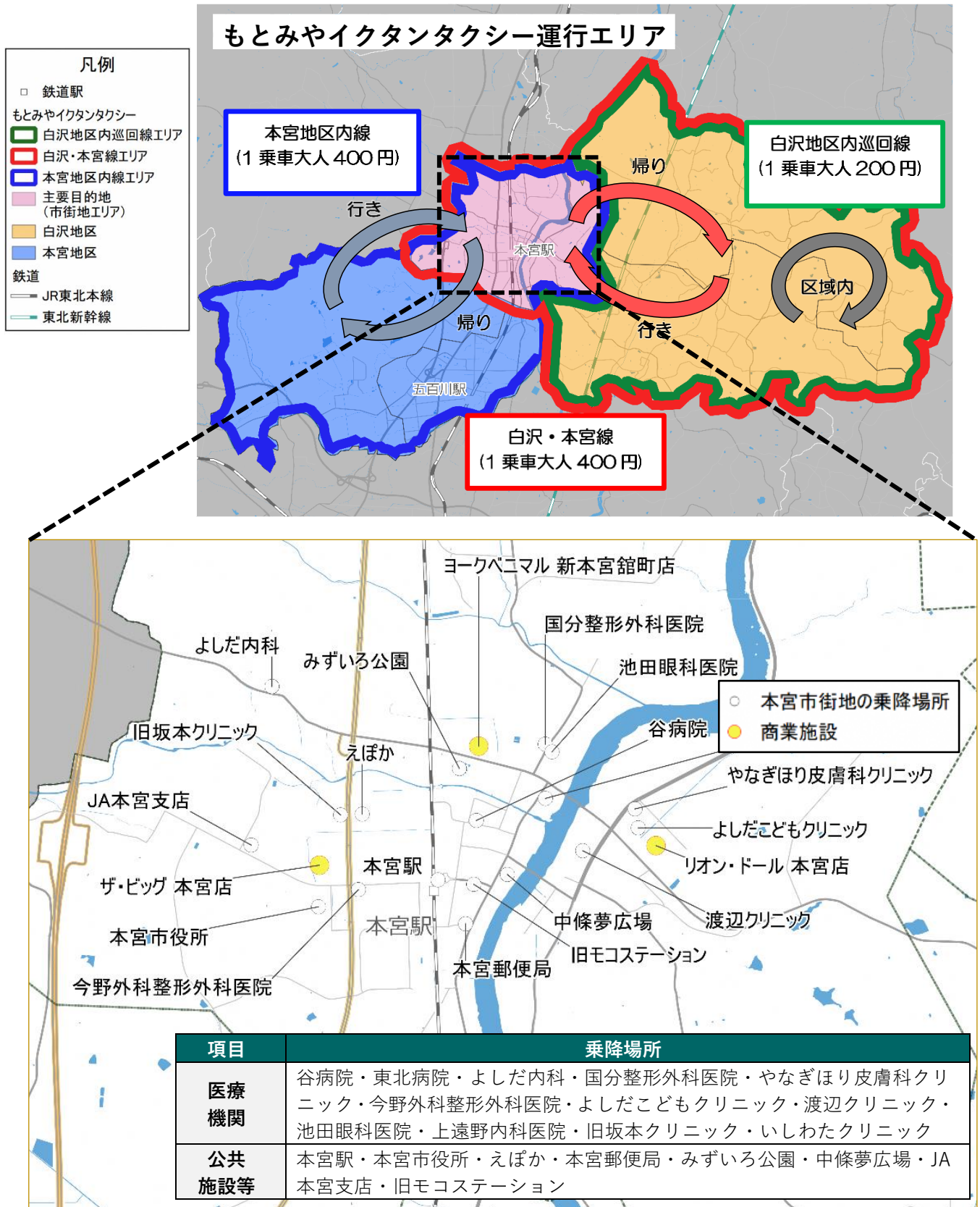


図 もとみやイクタンタクシーの運行エリアと乗降可能な目的地（中心部市街地のみ）

4-3-9 公共交通同士の接続状況（市内の移動）

●市内で買物利用を想定した場合の施設との接続状況（R3年2月時点）

■北コース以外の路線で、ニーズの高い商業施設へ直接移動することができるが、施設に2時間程度滞在する必要がある、食料品等の買物のためだけの滞在では乗り継ぎ時間が長すぎる

- 前述のとおり、市街地巡回線の北コース以外は市民アンケートから得られたニーズの高い商業施設付近を運行していることから、買物移動のために利用することができる。
- ただし、各路線とも商業施設で2時間程度滞在する必要がある、食料品等の買物だけで2時間の滞在は長すぎることから、市民の移動ニーズと合致していない可能性がある。
- また『リオン・ドール本宮店』を経由する東コースは、最も早い便で向かうと開店20分前に接続してしまう実態がある。

●市内で通院利用を想定した場合の施設との接続状況（R3年2月時点）

■市街地巡回線の全路線がニーズの高い医療施設へ移動することができるが、運行経路の関係上、本宮駅での乗り継ぎが必要となる。また、コースによっては乗り継ぎ時間が長い、もしくは施設滞在時間が短く、施設の混雑状況によっては診察を受けられない可能性が存在する

- 市街地巡回線の全路線がニーズの高い医療施設である『谷病院』へ移動することができる。
- しかし、一方向の巡回路線かつ、路線によっては住宅地を経由する前に病院へ乗り入れているため、直接経由している西コース、南コースにおいても、本宮駅等で他路線に乗り継いで移動する必要がある。
- さらには、路線によっては乗り継ぎ時間が1時間存在するものや、乗り継ぎによって病院への到着時間が遅れることによって、混雑時は診察を受けられない可能性がある。

●市内で通院・買物利用を想定した場合の施設との接続状況（R3年2月時点）

■市街地巡回線の全路線が一度の外出でニーズの高い医療施設および商業施設へ移動することができるが、移動行程が複雑のため、一般市民がこの利用方法を独自に検討するのは難しい

- 市民の移動実態として、一度の外出で通院と買物を済ませることが想定されることから、市街地巡回線で通院後に買物が可能かどうか整理した。
- 結果、どの路線を利用した場合でも、谷病院～ヨークベニマル新本宮館町店間を徒歩で移動することで、一度の外出で複数の用事を済ませることが可能である。
- 複数の用事を済ませるメリットとして、病院での滞在時間に余裕を持たせるとともに、商業施設での滞在時間を適正化できることを確認したが、一部のコースで滞在時間が長すぎる。
- なお、複数の移動手段を乗り継ぐ移動方法は、公共交通に十分慣れていない市民が独自で考えることは難しく、ほとんど利用されていないと推察する。

第4章【参考】本宮市の公共交通の現状（詳細版）

表 市街地巡回線を用いることを想定した商業施設への接続状況

目的地	路線名	愛宕下着	滞在時間	愛宕下発
ヨークベニマル 新本宮館町店	西コース	9:19	2:00	11:19
	市営バス	8:57	2:06	11:03
	広域生活バス（岳線）	14:17	2:21	16:38
	広域生活バス（竹の内線）	9:00	2:03	11:03

* 9:00に営業開始

目的地	路線名	市役所着	滞在時間	市役所発
ザ・ビッグ 本宮店	西コース	9:07	2:00	11:07
	南コース	10:15	2:00	12:15

* 8:00に営業開始

目的地	路線名	金瀬着	滞在時間	金瀬発
リオン・ドール 本宮店	東コース	8:40	2:00	10:40
		10:40	2:30	13:10

* 9:00に営業開始

表 市街地巡回線を用いることを想定した谷病院への接続状況

目的地	利用者	沿線コース	乗継	西コース	西コース	滞在時間	南コース	南コース	滞在時間	沿線コース				
		本宮駅着		本宮駅発	谷病院着		谷病院発	本宮駅着		本宮駅発				
谷病院	東コース沿線住民	8:56	0:04	9:00	9:03	3:00	12:03	12:26	0:34	13:00				
目的地	利用者	沿線コース	乗継	南コース	南コース	滞在時間	南コース	南コース	滞在時間	沿線コース				
		本宮駅着		本宮駅発	谷病院着		谷病院発	本宮駅着		本宮駅発				
		谷病院		東コース沿線住民	8:56		1:04						0:34	13:00
		西コース沿線住民		9:24	0:36		10:00	10:03		2:00	12:03	12:26	1:04	13:30
北コース沿線住民	9:52	0:08						1:34	14:00					
目的地	利用者	沿線コース	乗継	西コース	西コース	滞在時間	南コース	南コース	滞在時間	沿線コース				
		本宮駅着		本宮駅発	谷病院着		谷病院発	本宮駅着		本宮駅発				
谷病院	東コース沿線住民	10:56	0:04	11:00	11:03	1:00	12:03	12:26	0:34	13:00				
南コース沿線住民	10:26	0:34								帰宅				

* 内科の診療時間は月～金午前8：30～12：30、午後13：30～17：30

表 市街地巡回線を用いることを想定した谷病院、ヨークベニマル 新本宮館町店への接続状況

目的地	利用者	沿線コース	乗継	西コース	西コース	滞在時間	診察終了	徒歩	ベニマル着	滞在時間	西コース	西コース	乗継	沿線コース									
		本宮駅着		本宮駅発	谷病院着						愛宕下発	本宮駅着		本宮駅発									
谷病院→ ヨークベニマル 新本宮館町店	東コース沿線住民	8:56	0:04	9:00	9:03	3:27	12:30	0:10	12:40	1:09	13:49	13:54	1:06	15:00									
目的地	利用者	沿線コース	乗継	南コース	南コース	滞在時間	診察終了	徒歩	ベニマル着	滞在時間	西コース	西コース	乗継	沿線コース									
		本宮駅着		本宮駅発	谷病院着						愛宕下発	本宮駅着		本宮駅発									
		谷病院→		東コース沿線住民	8:56						1:04										13:54	1:06	15:00
		ヨークベニマル		西コース沿線住民	9:24						0:36	10:00		10:03	2:27	12:30	0:10	12:40	1:09	13:49	帰宅		
新本宮館町店	北コース沿線住民	9:52	0:08									13:54	0:06	14:00									
目的地	利用者	沿線コース	乗継	西コース	西コース	滞在時間	診察終了	徒歩	ベニマル着	滞在時間	西コース	西コース	乗継	沿線コース									
		本宮駅着		本宮駅発	谷病院着						愛宕下発	本宮駅着		本宮駅発									
谷病院→	東コース沿線住民	10:56	0:04	11:00	11:03	1:27	12:30	0:10	12:40	1:09	13:49	13:54	1:06	15:00									
ヨークベニマル	南コース沿線住民	10:26	0:34										0:36	14:30									

* 内科の診療時間は月～金午前8：30～12：30、午後13：30～17：30

4-3-10 公共交通同士の接続状況（市外への移動）

●市外への買物利用を想定した鉄道と各路線との接続状況（R3年2月時点）

■本宮市を出て買物をすることができるが、本宮駅から帰るためのバスの待ち時間が長いものや、便が存在しない路線が散見される

- 市民の日常的な買物移動時間として、午前中に自宅を出発して午前中もしくは昼過ぎに帰宅するといった動きが一般的であることから、市内の公共交通で実現可能かどうか接続状況の確認を行った。
- 結果、午前中に自宅を出て、郡山市方面で最も買物需要が高い『イオン郡山フェスタ店』へ買物に向かった場合、全ての路線で午前中に出発することは可能。
- 帰りの時間は、南コース以外は昼過ぎに本宮駅まで戻ることが可能。
- しかし、本宮駅から各方面への市内バスとの接続時間が1時間以上要する路線や、接続便がない路線が存在する。

●市外への通院利用を想定した鉄道と各路線との接続状況（R3年2月時点）

■本宮市を出て通院をすることができるが、本宮駅からの帰りのバスの待ち時間が長いものや、便が存在しない路線が散見

- 市民の日常的な通院移動時間として、午前中に自宅を出発して昼過ぎに帰宅するといった動きが一般的であることから、市内の公共交通で実現可能かどうか接続状況の確認を行った。
- 確認の結果、午前中に自宅を出て、郡山市方面で最も通院需要が高い『総合南東北病院』へ通院に向かった場合、全ての路線で午前中に出発することは可能。
- また、帰りの時間については、診察時間を考慮した場合、北コース、南コース以外は昼過ぎに本宮駅まで戻ることが可能。
- しかし、各方面への市内バスとの乗り継ぎ時間が1時間以上要する路線や、接続便がない路線が存在する。

表 郡山市方面で最も買物利用が多いイオン郡山フェスタ店への移動を想定した市内各路線の鉄道への接続状況

路線名	バス		鉄道			滞在時間	バス		鉄道		バス
	本宮駅着	本宮駅発	郡山駅着	郡山駅発	フェスタ着		フェスタ発	郡山駅前着	郡山駅発	本宮駅着	本宮駅発
通勤・通学バス	7:10	7:24	7:40	8:30	8:50	2:10	11:00	11:21	11:39	11:54	17:30
市営バス	7:34	8:08	8:23	8:30	8:50	2:10	11:00	11:21	11:39	11:54	12:10
	9:04	8:46	9:01	9:30	9:50	2:10	12:00	12:21	12:42	12:56	15:10
広域生活バス（岳線）	8:14	8:46	9:01	9:30	9:50	2:10	12:00	12:21	12:42	12:56	13:00
広域生活バス（竹の内線）	9:03	9:14	9:30	10:30	10:48	2:12	13:00	13:18	13:40	13:53	18:49
東コース	8:56	9:14	9:30	10:30	10:48	2:12	13:00	13:18	13:40	13:53	15:00
西コース	9:24	10:11	10:26	10:30	10:48	2:12	13:00	13:18	13:40	13:53	—
北コース	9:52	10:11	10:26	10:30	10:48	2:12	13:00	13:18	13:40	13:53	14:00
南コース	10:26	11:00	11:16	11:30	11:48	2:12	14:00	14:18	14:53	15:06	—

表 郡山市方面で最も通院利用が多い総合南東北病院への移動を想定した市内各路線の鉄道への接続状況

路線名	バス		鉄道			滞在時間	バス		鉄道		バス
	本宮駅着	本宮駅発	郡山駅着	郡山駅発	病院着		病院発	郡山駅前着	郡山駅発	本宮駅着	本宮駅発
通勤・通学バス	7:10	7:24	7:40	8:00	8:11	3:19	11:30	11:46	12:42	12:56	17:30
広域生活バス（岳線）	7:04	7:24	7:40	8:00	8:11	3:19	11:30	11:46	12:42	12:56	13:00
市営バス	7:34	8:08	8:23	8:30	8:39	3:20	11:59	12:20	12:42	12:56	15:10
広域生活バス（竹の内線）	8:42	9:14	9:30	9:50	9:59	2:00	11:59	12:20	12:42	12:56	18:49
東コース	8:56	9:14	9:30	9:50	9:59	2:00	11:59	12:20	12:42	12:56	13:00
西コース	9:24	9:14	9:30	9:50	9:59	2:00	11:59	12:20	12:42	12:56	13:30
北コース	11:52	12:04	12:19	12:30	12:39	3:36	16:15	16:28	16:45	16:58	—
南コース	12:26	12:52	13:07	13:30	13:39	2:36	16:15	16:28	16:45	16:58	—

* 内科の診察時間は午前：8：30～11：30、午後：14：00～16：30

第4章【参考】本宮市の公共交通の現状（詳細版）

●市外への通学利用を想定した鉄道と各路線との接続状況（R3年2月時点）

■郡山方面への通学ニーズが高い一方で、市内を運行する多くの公共交通が、郡山市内の高校への通学を想定した鉄道への接続ダイヤとなっていない

- 前述のアンケート結果から、市内に居住する高校生は、市内の高校だけでなく、郡山方面の高校へ通学している実態があることを確認しており、自由な移動手段を持たない高校生の多くは、保護者による送迎で通学せざるを得ない状況にある。
- 最も通学者が多い安積高校への通学を想定して作成することとし、市内を運行する公共交通が本宮駅に接続する時間を整理した。なお、郡山駅から安積高校までは約4kmの距離があることから、始業時間に間に合うバスで移動することを想定して整理した。
- 結果、7路線中2路線が通学に利用することができる。

表 市外で最も通学者が多い安積高校への通学利用を想定した市内各路線の鉄道への接続状況

路線名	本宮駅着	本宮駅発	郡山駅着	郡山駅発	高校着
広域生活バス	7:04	7:24	7:40	7:45	7:59
通勤・通学バス	7:10				
市営バス	7:34				
東コース	8:56				
西コース	9:24				
北コース	9:52				
南コース	10:26				

*郡山駅からは福島交通が運行するバス『静団地線』を利用

参考 次点で多い安達高等学校への通学利用を想定した市内各路線の鉄道への接続状況

路線名	本宮駅着	本宮駅発	二本松駅着	徒歩	高校着
広域生活バス	7:04	7:19	7:28	約20分	7:48
通勤・通学バス	7:10				
市営バス	7:34	7:50	7:59		8:19
東コース	8:56				
西コース	9:24				
北コース	9:52				
南コース	10:26				

4-3-1 1 市内公共交通の支払い方法

■広域生活バス以外の路線は利用券を事前に購入する必要があり、利用者の不便・不安を生み出す可能性がある

- 市内を運行する公共交通の中で、広域生活バスについては、車内で『利用券』が購入できるものの、それ以外の巡回バス、通勤・通学バス、市営バス、もとみやイクタンタクシーについては、利用者が事前に市内の所定の商店等で『利用券』を購入する必要がある。
- そのため、基本的に現金で利用することはできないため、利用者が回数券を買い忘れた場合に利用できないなど、利用者にとって不便な要素となっている。
- また、利用の仕方がわからない新規利用者には、利用時の不安を生み出す要素の一つとなりうる。

表 市内公共交通の利用料金と利用券の種類

対象	料金	券種	枚数	購入金額
大人	100円	50円券	10枚綴り	500円
小学生	50円	100円券	10枚綴り	1,000円
障がい者・付添人（お一人のみ）	各50円	200円券	10枚綴り	2,000円
未就学者	無料			

表 利用券取り扱い場所

本宮地区	安積屋（上町）、秋田屋（中條3区）、成田屋（中條3区）、エビスヤパン店（本宮駅前）、タカマツ美容室（本宮駅前）、白岩屋商店（中條4区）、加藤精肉店（南町裡）、菓匠きねや（志茂町）、はとや（志茂町）、近江屋青果店（荒町）、ぬか茂菓子店（馬場）、鈴石屋（仲町）、本芝（仲町）、虎屋菓子店（万世）、ノジリ（万世）、遠藤整備工場（白川）、渡辺米店（高木）、わたなベストア（荒井）セブンイレブン本宮荒井店（荒井）、おぬまや（荒井）、小沼屋本店（岩根）、遠藤商店（仁井田）
白沢地区	伊藤商店（和田）、ワタナベ洋服店（白岩）、根本商店（白岩）、セブンイレブン福島白沢店（白岩）、Kショップこくぶん（白岩）、白岩食品（白岩）、丸喜屋商店（白岩）、綿屋呉服店（長屋）、鈴木商店（長屋）、すげのでんき（稲沢）、稲屋商店（稲沢）